



inochi WAKAZO Project



inochi

inochi WAKAZO Forum 2021

YOUNG Living Lab for our "inochi"

Index

はじめに

- 01 — 一般社団法人inochi未来プロジェクトとは
- 02 — inochi WAKAZO Projectとは
- 03 — これまでの歩み
- 04 — inochi WAKAZO Forum 2021プログラム
- 07 — 協賛・後援のご紹介
- 08 — メンバー紹介

inochi Gakusei Innovator's Program 2021 KANSAI/KANTO

- 18 — inochi Gakusei Innovator's Programとは
- 20 — 今年度の活動について
- 22 — 今年度教育プログラム
- 26 — フォーラム登壇チーム一覧
- 32 — アイデアアーカイブ

inochi Gakusei Innovator's Program 2021 KANAZAWA

- 52 — 今年度の活動について
- 54 — 今年度教育プログラム

inochi Gakusei Innovator's Program 2021 TOKUSHIMA

- 58 — 今年度の活動について
- 62 — 今年度教育プログラム

inochi Gakusei Innovator's Program in MALAYSIA

- 64 — 今年度の活動について

WAKAZO

- 66 — WAKAZOについて
- 68 — 今年度の活動

協賛企業広告



一般社団法人inochi未来プロジェクトとは

みんなでinochiの大切さと未来について考え、行動するプロジェクト。医療者、企業、行政そして市民と患者も。関西・日本が、みんなで支え合いながら、健康で長生きできる街・国になることを目指します。



一般社団法人inochi未来プロジェクト
理事長/大阪大学大学院医学系研究科
特任教授/大阪警察病院 院長
澤 芳樹

いのち輝く未来社会の実現を、皆さまとともに。

一人でも多くの心臓病に苦しむ患者さんのいのちを救うために、日々医療の現場でのちと向き合い、格闘している医療者の立場から、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」について、フォーラムを開催させていただきます。新型コロナウイルスと闘い、共生し、予測できない不確実な未来に向かって生きていくためには、いのちを救い、力を与え、つなぐ活動と、経済社会活動が両立・循環する、新しい社会共有価値をみんなで考え、創り出すことが必要だと考えます。今回のご提案に少しでも興味を持っていただけた暁には、ぜひ、いのち輝く未来社会を実現するために、ご理解と支援のほどよろしくお願い申し上げます。

理事のご紹介



高橋 政代
株式会社ビジョンケア
代表取締役社長



高橋 良輪
京都大学大学院
医学研究科
臨床神経学 教授



森尾 友宏
東京医科歯科大学
発生発達病態学分野
教授



中村 雅也
慶應義塾大学医学部
整形外科学教室 教授



田中 里佳
順天堂大学大学院
医学研究科再生医学/
順天堂大学医学部形成
外科学講座 教授(併任)



宮田 祐章
慶應義塾大学医学部
教授



松村 真宏
大阪大学経済学部研究科
教授



鈴木 寛
東京大学 教授
慶應義塾大学 教授



寺本 将行
大阪大学医学部医学科卒
医師

inochi WAKAZO Project とは

「若者の力でいのちを守る社会を創る」をミッションに医療系の学生を中心とした約150名の学生が活動する、次世代イノベーター集団です。2つのメインプロジェクトである、ヘルスケア課題の解決を中高生と行う「課題解決型」のinochi Gakusei Innovators' Program (i-GIP)、未来について考えそのあり方を万博でデザインする「未来提案型」WAKAZO、両方の活動を行うことで、ミッションの実現を目指しています。

2021年度 inochi WAKAZO Project 共同代表 挨拶



木島 優美
Yumi Kijima
東京医科歯科大学
医学部医学科
3年



大西 統也
Toya Onishi
滋賀医科大学
医学部医学科
2年

今年1年、私たちinochi WAKAZO Projectは活動の幅を日本全国へ、そして世界へと、大きく広げました。日本4地域に加えて世界2地域でも、現地の若者とその土地ならではのヘルスケア課題解決に挑戦しました。加えて、世界の若者といのち輝く未来の在り方を描く熟議会も行い、若者の力で未来のヘルスケアを創る輪を広げてきました。本年度の活動の集大成であるinochi WAKAZO Forum 2021のテーマは、YOUNG Living Lab for our "inochi"です。東京オリンピック・パラリンピックから熱いバトンをつなぎ、「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマの万博もあと4年。コロナのパンデミックを経験し、いのちを守るだけでなくいのち輝くことの大切さを実感した私たちから、生命に加えて生活や人生も含めたいのちの輝きが基盤となる、新たな未来を創っていく必要があります。創設から7年間、活動の輪を広げながらもずっと「いのち」について考え、行動し続けてきた私たちだからこそ、ここから新たな「いのち輝く未来社会」が創られるフォーラムとなります。次世代を担う若者の手で未来を切り拓くYOUNG Living Labを、どうぞご覧ください。最後になりましたが、本フォーラムを開催するにあたりお力添えくださった全ての皆様に、厚く御礼申し上げます。

2021CORE MEMBERS



國富 太郎
順天堂大学
医学部医学科
4年



橋本 晃貴
金沢大学
医薬保健学域
2年



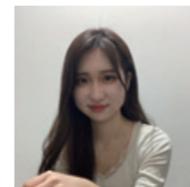
福本 和生
徳島大学
医学部医学科
5年



岸本 采子
大阪大学
法学部
3年



平本 京嗣
慶應義塾大学
医学部医学科
5年



浅見 咲菜
順天堂大学
医学部医学科
1年

これまでの歩み・今年度の事業一覧



寺本将行(当時大阪大学医学部4年)らにより**inochi学生プロジェクト**創設
inochi学生フォーラムを初開催(これより毎年開催) **2015**



「**2025大阪万博誘致若者100の提言書**」を大阪府に提出
inochi学生フォーラムに6カ国の海外大の学生が参加 **2016**



若者の力で大阪万博誘致の実現を目指す「**WAKAZO**」本格始動
BIEの視察団に日本若者代表としてプレゼン **2017**



inochi学生フォーラム優勝チームのアイデアが社会に出てプロジェクトに
BIE総会にて日本代表の一人として招致プレゼン **2018**



万博に関する有識者委員として大阪府のワーキンググループに参加
inochi学生フォーラム初の**関東開催** **2019**



inochi学生プロジェクトを**inochi WAKAZO Project**に改名
inochi学生フォーラムを**inochi Gakusei Innovator's Program**に改名
inochi Gakusei Innovator's Program 初の金沢開催
オンラインゼミ「**inochi未来・WAKAZO適塾**」開始
世界中の子供たちと作り上げるバーチャルパピリオンプロジェクト開始
生きるための交換日記プロジェクト開始
inochi Gakusei Innovator's Program が
一般財団法人三菱みらい育成財団の助成事業に採択 **2020**



inochi Gakusei Innovators' Program初の**徳島開催**
inochi Gakusei Innovators' Program初の**海外開催**
(ロサンゼルス、マレーシア)
inochiの**ペイフワード実証実験**を実施 **2021**

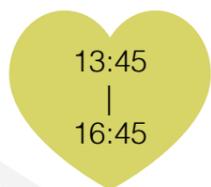
inochi WAKAZO Forum 2021 プログラム



opening

若者の力でいのちを守る社会を創る

私たちはコロナ禍を経験して、人とのコミュニケーションの方法が大きく変わり、心が通い合い、躍り、跳ね、弾む機会が少なくなったことで、いのちの輝きの大切さを改めて強く認識しました。今回のフォーラムでは、万博に向けたアクションの宣言を通して、2025年やその先に向けたこれからの新たな未来社会を描きます。



inochi Gakusei Forum

次世代のヘルスケアエポックメーカーの集い

今年度は、国内外(関東・関西・金沢・徳島・ロサンゼルス・マレーシア)から7つのアイデアが集うグローバルコンペを英語、日本語併用にて開催します。当コンペでは、コロナ禍において、いのちの大切さに気づいた若者が、今日の前で苦しむ人々に共感し、実際に起こしたアクションにより考案した課題解決策を発表、審査します。また、若者からの地域の創生に取り組むi-GIP金沢、徳島、九州からも活動内容の発表がございます。



inochi EXPO Forum

いのち輝くバトンをここから

WAKAZOは、「inochiのペイフォワード」によって誰もがいのちを守りあう未来を創造しようと、大阪万博を起爆剤に実現するべく活動を続けています。今回inochi EXPO Forumでは、ドバイ万博のリアルな声を踏まえて、WAKAZOの描く未来デザインや、世界中の若者の共創が生まれる場である「WAKAZO Summit EXPO 2025」の開催について、未来を描く様々な方々をゲストに迎え熟議を展開します。

OPENING

若者の力でいのちを守る社会を創る

inochi WAKAZO Projectの今年の活動の集大成である本フォーラム「inochi WAKAZO Forum 2021 -YOUNG Living Lab for our "inochi"-」。

開催に寄せられたメッセージや、1年間の活動に込めた代表の想いをお伝えいたします。

「若者の力でいのちを守る社会を創る」を活動理念に、私たち若者の挑戦がここから始まります。

次世代のヘルスケアエポックメーカーの集い

Teams

KANSAI ハシビロコウの せぼね	KANSAI MNHK2	KANTO クロワッサン 三姉妹	KANTO どさんこ 三姉妹	KANAZAWA いもいも
TOKUSHIMA おやつは おにぎりーず	敗者復活 ????	LOS ????	MALAYSIA Capture	

inochi Gakusei Innovators' Program(略称 i-GIP) 関西・関東・金沢・徳島に参加した中高・高専生は、各界のトップランナーからの教育プログラムを含む計4ヶ月間を運営大学生と2人3脚で歩み、プロジェクトを考案・実行してきました。また、ロサンゼルス、マレーシアと海外にも活動の場を広げました。人種間の軋轢、異文化の衝突...グローバル化を背景に、すれ違いが絶えない現代、それでも、いのちの尊さ、他者に共感する温かい気持ちは人間誰しも共通のはず。そんな信念で手を取り合い行動する国内外の若者の熱意、エネルギーにぜひ触れてください。

inochi Gakusei Forum

司会



國生 千代
大阪生まれ
兵庫育ちの
フリーアナウンサー

審査員



池野 文昭
・Program Director (US),
Stanford Biodesign
・Advisory Director,
Japan Biodesign
Researcher



八木 雅和
・大阪大学大学院医学系
研究科 招へい准教授
・Program Director,
Japan Biodesign



飯島 勝矢
・東京大学高齢社会
総合機構機構長
・未来ビジョン研究センター
教授



澤 芳樹
・大阪大学大学院
医学系研究系 特任教授
・大阪警察病院院長
・inochi未来プロジェクト
理事長

コメンテーター



Rajiv Bhanot
CEO and Co-Founder
of H2GO Global



Raffi Simonian
Senior Program Manager
for Innovate@UCLA at
UCLA's Office of
Advanced Research
Computing

いのち輝くバトンをここから

WAKAZOは、「inochiのペイフワード」によって誰もがいのちを守りあう未来を創造しようと、大阪万博を起爆剤に実現するべく活動を続けています。

今回のinochi EXPO Forumでは、ドバイ万博のリアルな声を踏まえて、WAKAZOの描く未来デザインや、世界中の若者の共創が生まれる場である「WAKAZO Summit EXPO 2025」の開催について、未来を描く様々な方々をゲストに迎え熟議を展開します。

Key Question

1. どうやって万博をきっかけにいのち輝く未来社会を実現していくか?
2. 万博で、未来に大きな影響を与えるような若者の活躍の場とはどのようなものか?
3. 若者に万博で期待することは?



ファシリテーター

鈴木 寛
東京大学・慶應義塾大学 教授

パネリスト



澤 芳樹
大阪大学大学院
医学系研究科 特任教授
大阪警察病院 院長



高橋 政代
株式会社ビジョンケア
代表取締役社長・
公益社団法人2025年
日本国際博覧会協会理事



中島 さち子
音楽家・数学者・STEAM教育者・
メディアアーティスト(株)steAm 代表取締役、
大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー
([いのちを高める])



平原 依文
WORLD ROAD
共同代表



木島 優美
WAKAZO代表
東京医科歯科大学
医学部医学科3年



堺井 啓公
公益社団法人2025年
日本国際博覧会協会
広報戦略局長

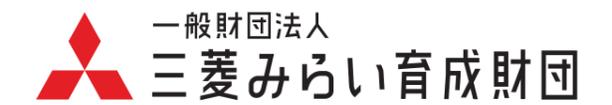
協賛・後援のご紹介

私たち学生の活動は、支援して下さる素敵な大人の皆さまからのご協力で成り立っています。

Donation Partner



i-GIP Partner



Platinum Sponsor



Silver Sponsors



Silver Sponsors



Bronze Sponsors



Friends Sponsors



後援

経済産業省近畿経済産業局/ 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会/ 公益社団法人関西経済連合会/ 一般社団法人関西経済同友会/ 大阪商工会議所/ 公益財団法人関西・大阪21世紀協会/ 公益財団法人大阪観光局/ 大阪府/ 大阪市/ 一般社団法人日本バイオデザイン学会/ 一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構/ 一般社団法人健康医療クロスイノベーションラボ/ 大阪府立大学 観光産業戦略研究所/ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター / 一般社団法人 日本老年医学会/ 公益財団法人日本AED財団/ 一般社団法人徳島県助産師会/ 金沢大学融合研究域/ 文部科学省/ 一般社団法人大阪府医師会/ 公益社団法人東京都医師会/ 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部/ 大阪大学大学院医学系研究科・医学部附属病院 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ (順不同)

はじめに

メンバー紹介



KANSAI 代表
大西 統也
Toya Onishi
滋賀医科大学
医学部医学科



KANSAI 副代表
岸本 采子
Ayako Kishimoto
大阪大学法学部
国際公共政策学科



KANSAI 副代表
天野 将明
Masaaki Amano
京都府立医科大学
医学部医学科



岡谷 一生
Kazuki Okatani
奈良県立医科大学
医学部医学科



上垣 由紀
Yuki Uegaki
奈良県立医科大学
医学部医学科



古谷 壮一郎
Soichiro Furutani
大阪医科大学
医学部医学科



河本 由希
Yuki Kawamoto
奈良県立医科大学
医学部医学科



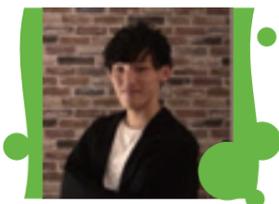
中澤 有佐
Yusa Nakazawa
奈良県立医科大学
医学部医学科



高濱 雅
Masaru Takahama
大阪医科大学
医学部医学科



杉本 亞梨朱
Arisu Sugimoto
京都府立医科大学
医学部医学科



伊東 駿一
Shunichi Ito
京都大学
薬学部



齋藤 珠乃
Tamano Saito
京都大学
薬学部



西川 麻弥
Maya Nishikawa
京都薬科大学
薬学部



亀田 隼大
Hayata Kameda
滋賀医科大学
医学部医学科



西川 采那
Ayana Nishikawa
大阪大学
医学部医学科



鈴木 光穂
Mitsuho Suzuki
神戸大学
医学部医学科



武本 あかね
Akane Takemoto
京都大学
薬学部



牧野 未来
Mirai Makino
同志社大学
政策学部



佐溝 真一
Shinichi Samizo
大阪大学
医学部医学科



松山 峻大
Shunta Matsuyama
滋賀医科大学
医学部医学科



清田 侑花
Yuuka Kiyota
鳥取大学
医学部医学科



横井 莉緒
Rio Yokoi
鳥取大学
医学部医学科



下浦 優希
Yuki Shimoura
大阪大学
医学部医学科



北野 幸一郎
Koichiro Kitano
京都府立医科大学
医学部医学科



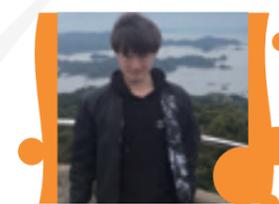
中里 圭之介
Keinosuke Nakazato
奈良県立医科大学
医学部医学科



KANTO 代表
國富 太郎
Taro Kunitomi
順天堂大学
医学部医学科



KANTO 副代表
大久保 孝慶
Takayoshi Okubo
東京大学
教養学部理科三類



KANTO 副代表
高橋 航一郎
Koichiro Takahashi
東京大学
経済学部経営学科



安藤 裕史
Hiroshi Ando
東京慈恵会医科大学
医学部医学科



森田 えりか
Erika Morita
慶應義塾大学
医学部医学科



尾方 優香
Yuka Ogata
北里大学
医学部医学科



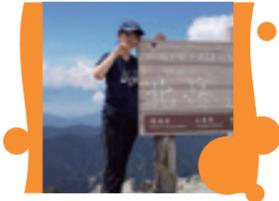
原田 駿
Shun Harada
慶應義塾大学
医学部医学科



塩谷 拓人
Hiroto Shiotani
慶應義塾大学
医学部医学科



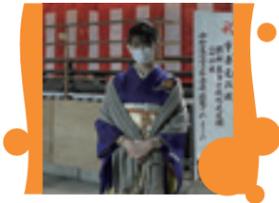
佐藤 蘭子
Ranko Sato
千葉大学
医学部医学科



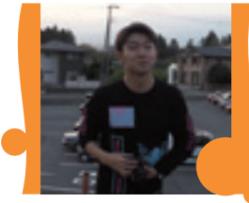
沓水 里穂
Riho Kutsumizu
東京医科歯科大学
医学部医学科



北村 美織
Miori Kitamura
千葉大学
医学部医学科



藤田 優梨香
Yurika Fujita
慶應義塾大学
医学部医学科



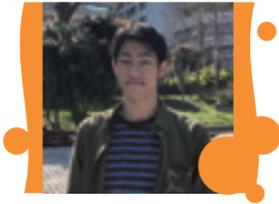
名取 啓
Hiraku Natori
日本医科大学
医学部医学科



森 夏音
Kanon Mori
UCLA/カリフォルニア大学
ロサンゼルス校
公衆衛生学/医療政策



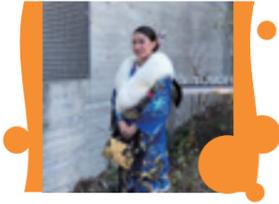
小薮 由依
Yui Koyabu
国際医療福祉大学
医学部医学科



森田 帆貴
Hodaka Morita
筑波大学
医学群医学類



篠田 和
Nodoka Shinoda
東京医科歯科大学
医学部医学科



佐竹 真生子
Maoko Satake
東京女子医科大学
医学部医学科



邱 龍一
Ryuichi Oka
オレゴン大学
経済学専攻/数学専攻



布川 淑恵
Yoshie Nunokawa
慶應義塾大学
医学部医学科



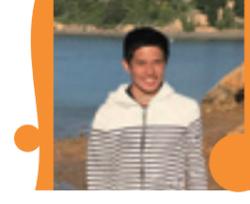
清水 真凜
Marin Shimizu
慶應義塾大学
医学部医学科



高木 日向子
Hinako Takagi
慶應義塾大学
医学部医学科



犬飼 理沙
Risa Inukai
慶應義塾大学
医学部医学科



基 峻
Ryo Dai
国際医療福祉大学
医学部医学科



野村 怜太郎
Rentaro Nomura
聖マリアンナ医科大学
医学部医学科



浅見 咲菜
Sana Asami
順天堂大学
医学部医学科



崎原 大暉
Hiroaki Sakihara
東京大学
教養学部理科三類



渡辺 優
Yu Watanabe
東京大学
教養学部理科一類



島 碧斗
Rikuto Shima
東京大学
教養学部文科一類



樋口 百合花
Lilika Higuchi
日本医科大学
医学部医学科



野村 瞭
Ryo Nomura
日本医科大学
医学部医学科



新田 友海
Yu Nitta
東北大学
医学部医学科



佐藤 雄大
Yudai Sato
東北大学
医学部医学科



滝本 亮成
Ryosei Takimoto
東京大学
教養学部理科三類



臼井 実莉
Minori Usui
東京医科歯科大学
医学部医学科



KANAZAWA 代表
橋本 晃貴
Koki Hashimoto
金沢大学
医薬保健学域医学類



KANAZAWA 副代表
小堀 拓磨
Takuma Kobori
金沢大学人間社会学域
国際学類米英コース



吉田 愛
Ai Yoshida
福井大学
医学部医学科



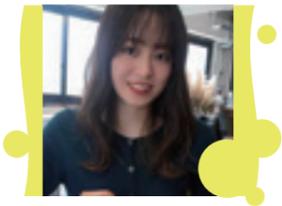
長尾 薫
Kaoru Nagao
公立小松大学
保健医療学部看護学科



山田 峻矢
Shunya Yamada
金沢大学
総合教育部理系



定免 泰誠
Taisei Jomen
金沢大学
総合教育部理系



笹嶋 友里
Yuri Sasajima
金沢大学人間社会学域
国際学類ヨーロッパコース



細坪 瑞貴
Mizuki Hosotsubo
公立小松大学
保健医療学部看護学科



中村 温雅
Atsumasa Nakamura
金沢大学
融合学域先導学類



小川 太陽
Taiyo Ogawa
金沢大学
医薬保健学域薬学類



辻 このり
Konori Tsuji
北陸大学医療保健学部
医療技術学科



佐藤 みちる
Michiru Sato
金沢大学人間社会学域
人文学類心理コース



岡本 岳人
Taketo Okamoto
金沢大学
融合学域先導学類



浜谷 真帆
Maho Hamaya
金沢大学
人間社会学域法学類



山地 夏鈴
Karin Yamaji
金沢大学医薬保健学域
保健学類検査技術科学専攻



矢崎 雄也
Yuya Yazaki
金沢大学
医薬保健学域医学類



棚元 彩乃
Ayano Tanamoto
北陸大学
薬学部薬学科



鈴木 志温
Shion Suzuki
北陸大学
薬学部薬学科



桐山 朋子
Tomoko Kiriya
金沢大学人間社会学域
国際学類



石崎 明珠
Mei Ishizaki
金沢大学
医薬保健学域医学類



中山 海緒
Mio Nakayama
金沢大学
医薬保健学域医学類



TOKUSHIMA 代表
福本 和生
Kazuki Fukumoto
徳島大学
医学部医学科



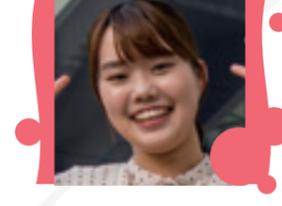
遠藤 真穂
Maho Endo
金沢大学新学術創成研究科
融合科学共同専攻M2



大薮 樹生
Tatsuki Oyabu
金沢大学
医薬保健学域医学類



TOKUSHIMA 副代表
関根 礼乃
Ayano Sekine
徳島大学
医学部医学科



TOKUSHIMA 副代表
岩田 悠利
Yuri Iwata
徳島大学
医学部医学科



谷口 千尋
Chihiro Taniguchi
金沢大学
医薬保健学域医学類



金谷 亮徳
Ryotoku Kanaya
金沢大学
医薬保健学域医学類



竹原 優
Yu Takehara
徳島大学
医学部医学科



小林 優音
Yune Kobayashi
徳島大学
医学部医科栄養学科



南 茜里
Akari Minami
金沢大学医薬保健学域
保健学類看護学専攻



川上 真維
Mai Kawakami
北陸大学
国際コミュニケーション学部
心理社会学科



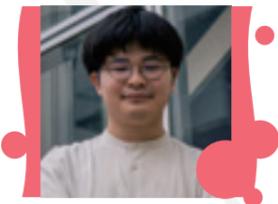
本田 剛士
Takeshi Honda
徳島大学大学院
創成科学研究科理工学専攻
光システムコース



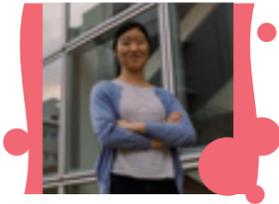
中井 洸我
Kohga Nakai
徳島大学
医学部医学科



末永 あおい
Aoi Suenaga
徳島大学
医学部医学科



藤丸 良
Ryo Fujimaru
徳島大学
医学部医学科



塚田 さら
Sara Tsukada
徳島大学
医学部医学科



瀨瀬 桃子
Momoko Koketsu
徳島大学
医学部医学科



多田 啓夏
Haruka Tada
徳島大学医学部
保健学科看護学専攻



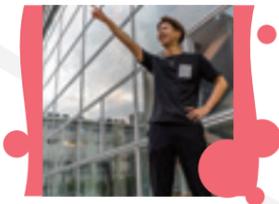
小谷 侑愛
Yua Kodani
徳島大学
医学部医学科



高橋 涼樹
Ryoju Takahashi
徳島大学医学部
医科栄養学科



長船 直加
Naoka Osafune
徳島大学
医学部医学科



川本 敦士
Atsushi Kawamoto
徳島大学
医学部医学科



溝口 萌花
Moka Mizoguchi
徳島大学
医学部医学科



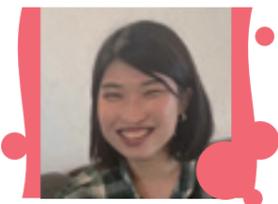
岡久 凜香
Rinka Okahisa
徳島大学
医学部医学科



矢葺 琉斗
Ryuto Yabuki
徳島大学医学部保健学科
放射線技術科学専攻



奥 咲和
Sawa Oku
愛媛大学
医学部医学科



納 遥
Haruka Osame
徳島大学医学部
保健学科看護学専攻



安福 麻実
Mami Abuku
徳島大学医学部
保健学科看護学専攻



垂水 柚奈
Yuna Tarumi
徳島大学理工学部
情報光システムコース



KYUSHU 共同代表
重松 真菜
Mana Shigematsu
久留米大学
医学部医学科



KYUSHU 共同代表
井崎 愛音
Anon Izaki
熊本大学
医学部医学科



KYUSHU 副代表
水谷 愛
Manami Mizutani
九州大学
医学部医学科



安達 千紘
Chihiro Adachi
九州大学
医学部医学科



川江 優月
Yuzuki Kawae
熊本大学
医学部医学科



永野 七海
Nanami Nagao
熊本大学
医学部医学科



高木 奏子
Soko Takaki
熊本大学
医学部医学科



吉田 堯史
Takashi Yoshida
久留米工業高等専門学校
機械・電気システム工学専攻
(機械工学コース)



佐味 彪太郎
Hyotaro Sami
東京医科歯科大学
医学部医学科



清水 真凜
Marin Shimizu
慶應義塾大学
医学部医学科



高泉 優
Yu Takaizumi
東京慈恵会医科大学
医学部医学科



松村 侑香
Yuka Matsumura
慶應義塾大学
医学部医学科



小堀 拓磨
Takuma Kobori
金沢大学人間社会学域
国際学類米英コース



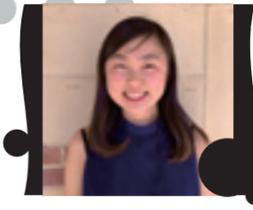
森田 瞳
Mana Morita
東京大学教養学部
前期課程理科三類



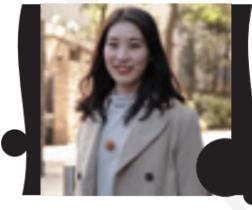
國富 太郎
Taro Kunitomi
順天堂大学
医学部医学科



小藪 由依
Yui Koyabu
国際医療福祉大学
医学部医学科



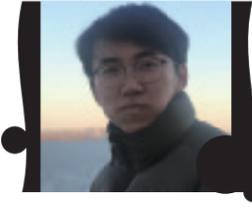
● 森 夏音
Kanon Mori
UCLA Computational and
Systems Biology



● 谷口 朋
Tomo Taniguchi
東京大学
薬学部



● カリッサ・ズー
Carissa Zhu
UCLA Computational and
Systems Biology



● 田中 祐太郎
Yutaro Tanaka
コロンビア大学理工学部
応用数学/応用物理学



WAKAZO 共同代表
● 木島 優美
Yumi Kijima
東京医科歯科大学
医学部医学科



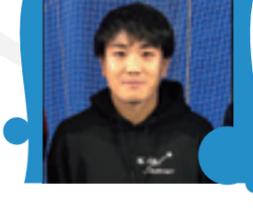
WAKAZO 副代表
● 小島 祐依
Yui Kojima
日本医科大学
医学部医学科



WAKAZO 副代表
● 飯塚 遼馬
Ryoma Iizuka
東京学芸大学附属
国際中等教育学校卒業



● 佐野 歩里
Ayuri Sano
東京医科歯科大学
医学部医学科



● 平野 大貴
Daiki Hirano
日本大学
歯学部歯学科



● 平本 京嗣
Atsushi Hiramoto
慶應義塾大学
医学部医学科



● 安藤 和泉
Izumi Ando
慶應義塾大学
環境情報学部



● 中井 洸我
Kohga Nakai
徳島大学
医学部医学科



● 高岡 亜瑠
Aru Takaoka
神奈川県立保健福祉大学
保健福祉学部栄養学科



● 近間 仁美
Hitomi Chikama
大阪大学医学部
保健学科看護学専攻



● 長田 優斗
Yuto Osada
埼玉医科大学
保健医療学部臨床工学科



● 重松 真菜
Mana Shigematsu
久留米大学
医学部医学科



● 増田 奈保子
Nahoko Masuda
大阪大学
医学部医学科



● 中本 好乃
Yoshino Nakamoto
神戸大学医学部
保健学科看護学専攻



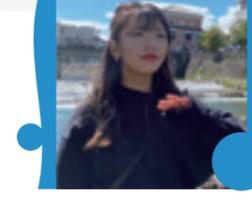
● 上芝 彩季
Saki Ueshiba
智辯学園和歌山
高等学校



● 松井 瞳
Hitomi Matsui
東京医科歯科大学
歯学部歯学科



● 麻生 怜子
Reiko Aso
東京医科歯科大学
医学部医学科



● 吉村 麻央
Mao Yoshimura
徳島大学
医学部医学科

inochi Gakusei Innovators' Program 2021 KANSAI / KANTO

inochi Gakusei Innovators' Program とは

私たち若者が、ヘルスケアに関わる課題に向き合い、解決策を創出する。

inochi Gakusei Innovators' Program (旧 inochi学生フォーラム / 略称 i-GIP) とは、inochi WAKAZO Projectが運営するヘルスケア課題解決策創出プログラムです。

本プログラムは関西で2015年から毎年開催されており、2019年に関東、2020年に金沢、2021年には徳島、マレーシア、ロサンゼルス、と国内に留まらず海外にも進出しました。これまでの6年間で日本含め世界7か国から総勢 **758名** の修了生を輩出しています。2~4人から成る中高・高専生のチームが数ヶ月間に渡り、各業界のトップランナーによる教育プログラムや医学生を中心とした大学生メンターによるメンタリングを受け、私たち一人ひとりが考えなくてはならないヘルスケア課題解決に取り組みます。参加者は課題解決のためのプランを自ら考え、実行し、「ヘルスケアアントレプレナー」としての第一歩を踏み出しています。修了生の一部は大学進学後に再びinochiに運営として戻り、自分たちの経験を後輩たちへと伝え、「ヘルスケアアントレプレナー」として自分自身も学びを得て更なる成長を遂げていきます。

2021年 inochi Gakusei Innovators' Program 関西関東 テーマ

『フレイルと、向き合い、一人でも多くの人に、一秒でも長く、健康を。』

本フォーラムでは、4か月間の取り組みの集大成として、10月下旬から11月上旬に行われた選考会にてファイナリストとなった関西・関東各2チームずつとフォーラム当日に決定する敗者復活戦を勝ち抜いた1チームを加えた計5チームによるプレゼンテーションが行われ、最優秀チームにはプランの実現のための資金援助の賞金15万円が授与されます。金沢・徳島・マレーシア・ロサンゼルスからは優勝した1チームずつが登壇し、各テーマに合わせた課題とプランについての4ヶ月の集大成をお見せいたします。

代表挨拶 (KANSAI)

i-GIP KANSAI Project Leader
滋賀医科大学医学部医学科

大西統也



私の曾祖母はフレイルを知らず要介護となり、ベッドの上で寝たきりとなって亡くなりました。寝たきりとなった曾祖母の姿は今でも鮮明に覚えています。

誰しもが陥る可能性のあるフレイル。英語でfrailtyと表されるように、心理的な面、社会的な面でも虚弱な状態を指します。現在の日本では、1800万人の方がフレイルに該当すると言われており、多くの方がフレイルだと気付かないうちに要介護状態となっていきます。

心身の機能が衰え、家族や地域の人との繋がりがなくなった状態で生きながらえたいとは思いません。健康で、かつ、大切な人たちとの繋がりの中で幸せを感じながら生きたいと思います。

フレイル対策を通じ、一人でも多くの高齢者が、一秒でも長く健康で、幸せに暮らせる社会を創りたい。そんな思いから、中高生とともに高齢者に向き合って課題を解決するべく、アクションを起こしてきました。

このプロジェクトで生まれた我々若者のアイデアが、目の前の高齢者を救い、未来の高齢者である自分たちをも救います。

僕の祖母は、幸いなことにフレイルではありません。しかし、僕が小さい頃に比べると、筋力などの低下はみられます。

加齢につれて心身の生理的機能は低下していきます。これは避けることができません。ですが、要介護状態になることは避けることができます。この時、鍵となるのが、フレイルであると考えています。私にとって、フレイルとは希望の概念です。身近な人を要介護にさせないための希望の概念です。

フレイルと向き合うことは、日本の高齢者の健康を守ることを意味するものではありません。高齢化先進国である日本だからこそ、これからの高齢社会における新しい健康のあり方を提案できると考えています。

高齢者のいのちに希望を、世界に未来の健康のあり方を。日本の中心であり社会の核である東京に暮らす僕たちから、これからの医療を担う僕たちから、社会に届けます。

若者が、フレイルと向き合い、1人でも多くの人に、一秒でも長い健康を届けます。

代表挨拶 (KANTO)

i-GIP KANTO Project Leader
順天堂大学医学部医学科

國富太郎



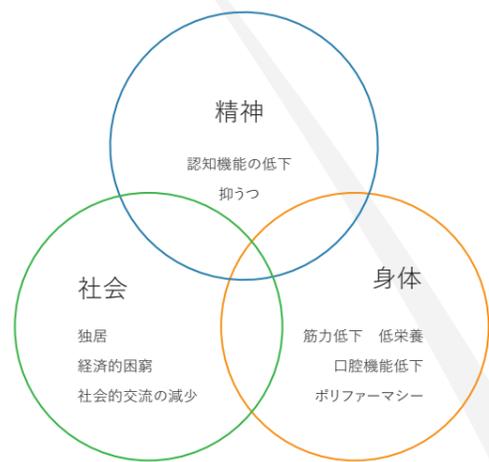
今年度の活動について

フレイルについて

フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間に位置します。身体的機能や認知機能の低下、さらには精神面、社会面の虚弱が見られます。

しかし、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずに済む可能性があります。

世界一の長寿国;日本において、要介護状態を予防することは重要な課題です。世界的に高齢化が進む中、日本の取り組みに世界が注目しています。



アドバイザーの先生方(順不同)

フレイルに関して… 緑 / 教育プログラムに関して… オレンジ



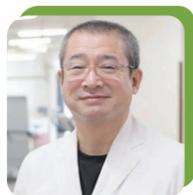
荒井 秀典先生

国立長寿医療研究センター
理事長



飯島 勝矢先生

・ 東京大学
高齢社会総合研究機構機構長
・ 東京大学未来ビジョンセンター
教授



近藤 和泉先生

・ 国立長寿医療研究センター副院長
・ リハビリテーション科部長
・ 健康長寿支援ロボットセンター長
・ 厚生労働省老健局参与
(介護ロボット担当)



山田 実先生

筑波大学人間系 教授



牧迫 飛雄馬先生

・ 鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻
基礎理学療法学講座教授
・ 国立長寿医療研究センター
予防老年学研究部 客員研究員



藤原 佳典先生

東京都健康長寿医療センター
研究所
社会参加と地域保健研究チーム
研究部長(チームリーダー)



池野 文昭先生

Program Director (US),
Stanford Biodesign
Advisory Director,
Japan Biodesign



八木 雅和先生

大阪大学大学院
医学系研究科
招へい准教授
Program Director,
Japan Biodesign

オンライン・オフライン併用での開催

今年のi-GIPの教育プログラムは、COVID-19の感染状況に応じてオンラインとハイブリッドの2種類の形式を使い分けて実施いたしました。参加中高・高専生のリクルート、面接、教育プログラム、そしてこのinochi WAKAZO Forum 2021まで、zoom、miro、remo、Slackなど、様々なオンラインツールを用いて行いました。

オンラインでの開催時には、海外を含む遠方の方々にご講演していただくことや、i-GIPの地域を超えた交流をすることもできました。



今年度参加校一覧

7年目に突入した「inochi Gakusei Innovators' Program」。今年度は以下に掲載する、中学校・高等学校・高等専門学校から多くの学生が参加しました。(順不同)

KANSAI

智辯和歌山中学校	灘高等学校	洛南高等学校	神戸女学院高等部
奈良学園登美ヶ丘高等学校	雲雀丘高等学校	清風南海高等学校	三国ヶ丘高等学校
近畿大学附属豊岡高等学校	関西大倉高等学校	大谷高等学校	高槻高等学校・中学校
清教学園高等学校	天王寺高等学校		

KANTO

豊島岡女子学園高等学校	立命館慶祥高等学校	仙台二華高等学校	前橋女子高等学校
東京学芸大学附属高等学校	市川高校	聖光学院高等学校・中学校	公文国際学園
日比谷高校	武蔵野大学附属千代田高等学院	佐野日本大学中等教育学校	愛知淑徳高等学校
フェリス学院高等学校	慶應義塾女子高等学校	慶應義塾湘南藤沢高等部	立教女学院高等学校
横浜市立南高等学校	広尾学園高等学校	東洋英和女学院高等部	女子学院高等学校
S高等学校	八千代松陰高等学校	渋谷教育学園幕張高等学校	渋谷教育学園渋谷高等学校
一関第一高等学校	学習院女子高等科		

今年度教育プログラム

KANSAI	KANTO
<p>07/11 KICKOFF MEETING</p> <p>フレイル解決に熱い思いを持った仲間たちとの顔合わせ。課題解決の1歩を踏み出しました。</p>	<p>07/11 KICKOFF DAY</p> <p>4ヶ月間、共にi-GIPを走り抜ける中高生と大学生メンバーが集まり、士気を高めました！</p>
<p>07/25 DESIGN THINKING DAY</p> <p>デザイン思考の意義を知り、課題の発散と収束の手法を学びました。</p>	<p>07/22 DESIGN THINKING DAY1</p> <p>課題解決において重要なデザイン思考について金安様に講演をして頂き、ヒアリングの参考ともなるインタビュー形式で金安様から医師の金井様の取り組みについて伺って頂きました。</p>
<p>08/08 COMMUNITY×TECH DAY</p> <p>課題解決においてコミュニティやテクノロジーをどのように用いるのかについて理解を深めました。</p>	<p>07/23 INTERVIEW DAY</p> <p>課題を見つけていくうえで、今中高生が行っている、ヒアリングを大学生メンターと見直すよい機会になりました！</p>
<p>08/01 MENTORING DAY #1</p> <p>ヒアリングから見つけ出した課題に対して、フレイルの専門家や複数の大学生からフィードバックをもらいました。</p>	<p>07/25 DESIGN THINKING DAY2</p> <p>よい課題とは何か、課題の設定方法について安斎様のご講演から学び、大学生と共に課題の発散を実践していく上で、これまでしてきたヒアリングの意義を体感できた日になりました。</p>
<p>08/29 PROTOTYPING DAY</p> <p>プロトタイプの意義を学び、実際に作成を体験しました。</p>	

KANSAI	KANTO
<p>09/05 中間コンペ</p> <p>i-GIPスタート後2か月間の取り組みを発表し、課題と解決策について評価を行いました。</p>	<p>08/08 MINI PITCH DAY 1</p> <p>全チームがヒアリングなどを通して発見した「課題」を発表した後、順位の発表を行いました。審査員からの評価を受けたことでより良い課題解決へのさらなる一歩を踏み出すことができました。</p>
<p>09/12 MENTORING DAY #2</p> <p>中間コンペで審査員の方からいただいた指摘を踏まえて、課題や解決策を修正するための助言をいただきました。</p>	<p>08/29 MINI PITCH DAY2</p> <p>様々な大学生が中高生のプレゼンテーションのフィードバックとメンタリングを行いました！</p>
<p>09/26 PROSPECTING DAY</p> <p>グローバルヘルスや医療ベンチャーについて学び、世界や起業の道があることを考える機会にしました。</p>	<p>09/19 一次選考会</p> <p>inochi KANTO healthcare summitに進出するチームを選抜する1回目の選考会で、全チームがプレゼンを行いました。特に優秀な3チームが選抜されました。</p>
<p>10/03 PRESENTATION DAY</p> <p>プレゼンの構成や表現技法、意識すべきデザインを学び、人に伝える重要性を学びました。</p>	<p>09/26 COOPERATION DAY</p> <p>社会実装を目指し解決策を企業にアピールすることでコラボレーションを目指しました。また、講演を通じて社会実装のマインドを伝えました。</p>
<p>10/10 MENTORING DAY #3</p> <p>自分達のアイデアを社会実装していく上でのアクションの取り方を学びました。</p>	<p>10/24 二次選考会</p> <p>inochi kanto summit で審査を受ける上位12チームを選抜する選考会です。中高生ならではの課題、解決策のアイデアが発表されました。</p>
<p>10/24 inochi フレイル Forum KANSAI 2021</p> <p>inochi WAKAZO Forumへの登壇権をかけ、各チームが全力で4ヶ月間の取り組みを発表しました。</p>	<p>10/31 inochi kanto healthcare summit</p> <p>関東の中高生が高齢の方に向き合い、見つけたアイデアを社会へ発信しました。</p>

KANSAI ゲスト紹介 (敬称略)



07/11 KICKOFF MEETING

澤芳樹/ inochi未来プロジェクト理事長
寺本将行/ inochi WAKAZO Project創設者

07/25 DESIGN THINKING DAY

荒井秀典/ 国立長寿医療研究センター 理事長
木川田一榮/ 大阪大学大学院国際公共政策研究科 客員教授

08/01 MENTORING DAY #1

牧迫飛雄馬/ 鹿児島大学 医学部保健学科理学療法専攻 基礎理学療法学講座
堤本広大/ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

08/08 COMMUNITY×TECH DAY

西智弘/ 川崎市立井田病院 腫瘍内科緩和ケア内科医長・
一般社団法人プラスケア代表理事

下村明司/ 株式会社 Magic Shields代表取締役

山海嘉之/ 筑波大学システム情報系教授・サイバニクス研究センター研究統括・
F-MIRAIセンター長・CYBERDYNE(株)代表取締役社長兼CEO

08/29 PROTOTYPING DAY

西川登偉/ 和歌山県立医科大4回生
奥野洋子/ 都築電気株式会社 広報

09/05 中間コンペ

池野文昭/ Stanford Biodesign Advisory Director
若林秀隆/ 東京女子医科大学病院 リハビリテーション科 教授
清元佑紀/ inochi未来プロジェクト推進委員

09/12 MENTORING DAY #2

塩瀬隆之/ 京都大学総合博物館准教授
宇井吉美/ 株式会社aba 代表取締役

09/26 PROSPECTING DAY

池野文昭/ Stanford Biodesign Advisory Director
金森サヤ子/ 大阪大学COデザインセンター 特任講師

10/03 PRESENTATION DAY

前田鎌利先生/ 書家・プレゼンテーションクリエイター

10/10 MENTORING DAY #3

Gaiax・スタートアップスタジオ協会
山本愛優美/ Nexstar CEO・慶應義塾大学環境情報学部3年
横田宗/ NPO法人アクション代表

10/24 inochi フレイル Forum KANSAI 2021

阿久津靖子/ 一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構代表理事・
千葉大学医学部附属病院特任准教授・
株式会社MTヘルスケアデザイン研究所代表取締役
守本陽一/ 一般社団法人ケアと暮らしの編集社代表理事・
公立豊岡病院出石医療センター総合診療科
其道忠久/ inochi未来プロジェクト事務局・株式会社電通
藤本遼/ 株式会社ここにある代表取締役
岡山泰士/ 株式会社一級建築士事務所STUDIOMONAKA代表



KANTO ゲスト紹介 (敬称略)



07/11 KICKOFF DAY

鈴木寛/ 東京大学・慶應義塾大学教授

07/22 DESIGN THINKING DAY1

金安壘生/ 株式会社BIOTOPE
金井哲也/ 医療法人社団明康会かない内科院長

07/23 INTERVIEW DAY

宮坂道夫/ 新潟大学医学部保健学科教授

07/25 DESIGN THINKING DAY2

安斎勇樹/ 株式会社MIMIGURI代表

08/08 MINI PITCH DAY 1

山田実/ 筑波大学人間系教授
中原楊/ i-GIP KANTO 2020代表・慶應義塾大学医学部

08/29 MINI PITCH DAY2

田邊翼/ inochi未来プロジェクト推進委員・大阪大学医学部

09/19 一次選考会

飯島勝矢/ 東京大学高齢社会総合研究機構構長・未来ビジョン研究センター教授

植田拓也/ 東京都健康長寿医療センター研究所・東京都介護予防・

フレイル予防推進支援センター副センター長(老年学博士・理学療法士)

北川潤之介/ 戦略コミュニケーションプランニング・クリエイティブディレクター

寺本将行/ inochi WAKAZO Project創設者

堀井秀之/ i.schoolエグゼクティブディレクター・

(一社)日本社会イノベーションセンター(JSIC)代表理事・東京大学名誉教授

09/26 COOPERATION DAY

津田真吾/ INDEE Japan 代表取締役テクニカルディレクター共同創業者

伊藤春花/ メドキャリ合同会社

高野洋/ 株式会社東急エージェンシー・1メディアビジネスユニット「no.oo」

岡田紗季/ 慶應義塾大学総合政策学部・AEDi 起業

渋川駿伍/ Kakedas代表・起業家

10/24 二次選考会

吉村典子/ 東京大学医学系研究科特任教授

小嶋雅代/ 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

老年学・社会科学部研究センター フレイル研究部

山田達也/ inochi学生プロジェクト2018代表・大阪大学医学部

中原楊/ i-GIP KANTO 2020代表・慶應義塾大学医学部

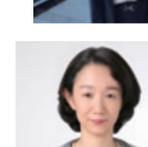
10/31 inochi kanto healthcare summit

鈴木寛/ 東京大学・慶應義塾大学教授

田中里佳/ 順天堂大学医学部形成外科学講座教授

石見陽/ メドピア株式会社代表取締役社長CEO(医師・医学博士)

秋山弘子/ 東京大学名誉教授・東京大学高齢社会総合研究機構客員教授



フォーラム登壇チーム一覧

「フレイルと、向き合い、一人でも多くの人に、一秒でも長く、健康を。」

自分たちの力で高齢者が抱える問題を細分化し、課題解決に取り組んできた全43チームの中高生・高専生たちのうち、関西・関東から各2チームずつが本フォーラム登壇権を勝ち取りました。彼ら・彼女らのたった一度きりのプレゼンテーションに込めた、熱い想いを是非ご覧ください。

PRESENTATION TEAMS

1. ハシビロコウのせぼね 「ごくごくタイマー」
2. MNHK2 「仕事帰りサウナクラブ」
3. どさんこ三姉妹 「ツルっとすってん要介護」
4. クロワッサン三姉妹 「出た?んぽぽ」

inochi WAKAZO Forum 2021

関西最優秀賞チーム



プラン名	ごくごくタイマー	プランの概要
チーム名	ハシビロコウのせぼね	<p>・独居高齢者は、加齢によって脱水に気づきにくいだけでなく、家族がいないことで共に水分を摂る相手がいらないことから、通常の高齢者よりさらに水分不足に陥りやすい。水分不足はオーラルフレイルの入り口である唾液の減少につながるため、オーラルフレイルを防止するにあたり重要な課題である。</p> <p>・その独居高齢者を対象に、時間になると「ごくごく」という人が水を飲む音が流れるデジタル時計を用い、その音を聞いた対象者の水を飲みたいという意欲を引き起こす。</p> <p>・時計にすることで解決策をより高齢者の生活に溶け込みやすいものにする。</p> <p>・対象者は、音を聞き、自分の「飲みたい」という意思で水分を摂るために行動するため、負担が少ない。</p> <p>・この解決策を用いた将来の目標として、「すべての対象の高齢者が1日に必要であると言われる水分量(体重1kgあたり30mL)をストレスフリーに摂れる社会」を目指す。</p>
学校名	三国丘高校、天王寺高校	
メンバー	谷川結奈、延澤めい菜	
自己調査実績	<p>(インタビュー)大阪大学 高見洋一先生/東京都立健康長寿医療センター 平野浩彦先生/社会福祉院 藤野様/介護支援専門員、介護福祉士 村本様/介護支援専門員、看護士 中島様/国民健康保険(元介護福祉士) 中野様/プランニング推進員 高野君、職員の高橋(解決策の実証協力)スーパーコート様/メンバーの祖父2名、本プログラム参加者の祖父2名</p>	
課題	独居高齢者が水分を十分にとらないこと。	
解決策	水を飲むときの音で、対象者の「飲みたい」という意欲を増進させる	



関東優秀賞チーム



最終選考会の様子



プラン名	でたんぼぼ	プランの概要	人が湯船に入ると水面が上がり、花瓶の底についている温度センサーが湯温を感知します。すると、水温にあった時間を自動で測り、時間の経過と共に花がだんだん開いていきます。
チーム名	クワッサン三姉妹		時間が半分になると、「あと半分だよ」と利用者に音声で知らせます。
学校名	学習院女子		時間になったら、(湯船から出る適切な時間になったら)「体が温まったよ、お風呂から出よう!」と利用者に向けて音声の流れます。この音声は、利用者が自分で停止ボタンを押すまで流れ続けます。
メンバー	黒澤恵理・篠田まなか・棚町友香		
自己調査実績	【お話を伺った方々】 群馬県 南多摩病院・副院長代行 診療部長 兼 総合内科部長 関 裕夫先生 / 千葉科学大学大学院 危機管理理学研究科 基本部長 山本 浩二先生 / 訪問看護 介護ヘルパー/指導者 (高齢者) 京中市福祉保健部高齢者支援課 (みんチャレ) 東京都健康長寿医療センター 産科口腔外科 平野 浩彦先生		
課題	温度感覚のフレイルによって、湯船に長時間入っても暑さを感じない。 → 気付かぬ内に体温が上昇し熱中症に。熱中症の症状である脱力・意識障害により湯船から出られない。 → さらに体温が上昇し、意識消失に。そのまま溺死してしまう。		溺死は交通事故よりも多い...
解決策	フレイルの方が感じにくい、自分の体温の上昇をわかりやすく視覚化 → 実際の体温とフレイルの方の意識との差を埋め、浴室で熱中症を防止!		



プラン名	通話アプリYobukoe(ヨブコエ)
チーム名	Plaisir!
学校名	大谷高校
メンバー	後藤彩之 徳山友優 吹田瑞稀 塩井あずさ

自己調査実績

(インタビュー)
ストレスケア日比谷クリニック院長 酒井和夫先生
77歳女性 通子様

(アンケート)
自分の家族と高齢者との関わり方について、学校にてアンケート

課題

夫を亡くした独居女性が別居している家族の事情を考慮してしまい、連絡できない事によりストレスを溜め込んでしまう

解決策

相手の予定を把握するための予定入力機能、短時間だけでも相手と通話しコミュニケーションを取りやすくする機能を兼ね備えたアプリ

プランの概要

【解決策の説明】

- 1.仕事や学校で長電話に出られる程の余裕がない
- 2.連絡を取りたいが子供家族は忙しいと考え気楽に電話出来ない機内高齢者

以上の二点から相手の予定を把握するための予定入力機能、短時間だけでも相手と通話しコミュニケーションを取りやすくする機能を兼ね備えたアプリ

主な使い方(仮)

連絡を取りたい人の名前を選択
↓
"予定を伝える"をタップ
↓
予定をワンタッチ式で入力後送信
↓
高齢者はその送られた予定を見ながら高齢者側のタイミングで"電話をかける"を押しヨブコエ電話スタート

プラン名	ロングフェラムネ
チーム名	タフタフ
学校名	関西大倉高校
メンバー	中山咲子 藤本あきこ 清水彩花 井上結翔

自己調査実績

(ヒアリング)
・安満公園(2回)
・高槻市役所
・サンスター
・天王町公園
・さくら歯科

(アンケート)
同世代30人
回答
回収中

・ルピナス
・飯島徳夫先生
・真輪様
・成瀬様
・西川様
・コリス株式会社

課題

気づかず、何も対策出来ずにオーラルフレイルになる高齢者がいる

解決策

フェラムネを割った状態で販売し、自分で繋げて既存のフェラムネより吹く力を強くし、唾液のたくさん出るフェラムネを作る。

プランの概要

フェラムネを用いるメリット強み

- ①昔からある駄菓子で誰でも知っている
→手に取りやすい
- ②音がなって楽しい
→誤嚥作用
- ③唾液量が増やせる
→誤嚥作用
- ④味と一緒にできる
→子供オーラルフレイル
- ⑤1人で家でできる

パッケージにオーラルフレイルについて記載してもらい知ってもらう。
また、溶けにくいフェラムネと溶けやすいフェラムネを同時に自分に合ったフェラムネを作ることができる。

フェラムネ

フェラムネを保管する箱

コリスフェラムネ

オーラルフレイルについて

原材料名など書かなければいけないこと

未来像

高齢者の人が自分の手で自分の食べたいものを口に運び、自分の口で噛んで飲み込んで自分で消化、排泄までを死ぬまで続ける。

プラン名	すらいだな
チーム名	T-暁
学校名	高槻高等学校
メンバー	辻陽樹 柚俊弥 辰巳葉音

自己調査実績

(インタビュー)
・高齢者施設に対するヒアリング2件(株式会社)に対するヒアリング2件(高槻市の取り組みの発表2件)
・高齢者向け居宅型インタビュー1件(その他、メールのみでのやり取りもあり)

(アンケート)
・メンバーの親友様とその知り合いに対して(約25名)
・デザイナーと協力して制作した際に(約20名)

課題

身近にある固定されていない台を使って、高所のものをとろうとしたときに、バランスを崩して落ちてしまう

解決策

筋力の低下した高齢者でも動かすことのできる昇降式の棚

プランの概要

高いところからものを取らせない

・棚の内部に設置し、棚の中のものを"すらいだな"の上に取り付けた箱に入れる。
・"すらいだな"を引きおろすだけで高いものを低いところにおろすことができる。
・ストッパー機能で安全性を高め、段階的に固定できる。
・巻き戻し機能で弱い力で押しもどすことができる。

プラン名	GOTOコミュニティ
チーム名	バトSV
学校名	神戸女学院高等学部
メンバー	京藤ちひろ 森万有子 南石芽衣 安田百合香

自己調査実績

(インタビュー)
・施設見学(神戸市立中央図書館、高槻市立中央図書館、高槻市立中央図書館、高槻市立中央図書館)
・施設見学(神戸市立中央図書館、高槻市立中央図書館、高槻市立中央図書館、高槻市立中央図書館)
・施設見学(神戸市立中央図書館、高槻市立中央図書館、高槻市立中央図書館、高槻市立中央図書館)

課題

退院後の社会的フレイル・退院後の身体的弱さによって、外出を控え、社会的交流が減ってしまう

解決策

ライフストーリーシートを使い、退院後の高齢者を地域コミュニティへ勧誘する

プランの概要

- ①退院が近づいた患者さんに、ライフストーリーシートを書いてもらう
- ②ボランティア団体がライフストーリーシートを回収し、記載されている趣味や仕事の経歴などを参考に、その人に合いそうな地域コミュニティを探し出す
- ③該当する地域コミュニティに勧誘する「招待状」を患者さんに対して作成する
- ④招待状を病院に渡す
- ⑤退院時に招待状を患者さんに渡す

【実現できること】

患者さんにとって

- ・「招待状」によって、初めてのコミュニティに入るハードルが下がる
- ・個別性の高いサジェストが得られるため、自分の好みにあった紹介がされる

地域コミュニティにとって

- ・メンバーを増やしたい、足りなくて困っている団体にとって広報活動を肩代りしてもらえることになるので、利益になる
- ・通いの場に行くきっかけは口コミが多く、行政が真に目的とする独居・閉じこもりの人にあまり届いていない可能性が高いが、「入院」によって一度病院という家の外に出ているタイミングであれば、対象者を見失う前に介入できる

【ボランティア団体について】

- ・自分達が所属する校内のボランティア団体で実現可能
- ・門真市社会福祉協議会の協力

【今後の展望】

- ・〇〇に協力の約束、依頼、検討→〇〇地域で進めていく



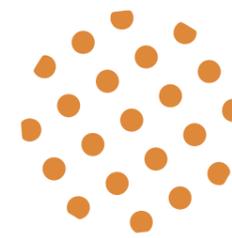


プラン名	日日草	プランの概要 尿意の周期を把握し、いくべき時間に通知がくるアプリ 【アプリの内容】 1 水分摂取量からトイレにいくべき時間を通知 2 トイレの位置がわかるアプリと連結予定 3 定期的に通知で排尿を促す
チーム名	美少女戦隊白控	
学校名	清教学園高等学校	
メンバー	中野花 太西美梨 荻本こはく	
自己調査実績 株式会社トラストリレーション 三嶋商事株式会社 花王株式会社 リブドゥコーポレーション		工夫 ・ウェアラブル端末にする事によって通知を見逃さない。 ・家族の携帯とつなげて、家族にも通知がいくように。
課題 尿意を感じにくい 一尿失禁が不安で外出を控える 尿失禁で苦しんでいる人は全国で400万人も!		
解決策 トイレに行くべきタイミングを知らせてくれるウェアラブル端末用のアプリ		
next ショートカットを使用してプロトタイプを作成 このアプリを使って、より多くの高齢者が尿もれを気にすることなく、家族で旅行や趣味を楽しんで欲しい!		

プラン名	毎日ねむりたいよう	プランの概要 5-10分を目安に思考するクイズが書かれた紙を日光に当たりながら、認知症予防として脳トレに関する問題を解く。 問題文の文字の印刷に使われるインクは、紫外線に当たっているときのみ視覚で認識することができる。(イメージは日めくりカレンダー形式)そして、クイズが解けたら、紙の下の部分を切り取り、近くのコンビニやスーパーで商品の引換券または割引券として利用できる。(朝に日光を浴びることを目的とするために、引換券の有効期限を当日の昼頃までとする) 【その他のメリット】 ・室内でできる ・天候に関係なく、毎日実施できる ・買い物によって外出を促すことができる
チーム名	sidewalk	
学校名	豊島岡女子学園高等学校	
メンバー	榎原百華・仲澤希・服部麗奈・堀口華子	
自己調査実績 ・豊島区立東洋館フレイル対策センター ・区民ひろば新友 ・西川(博徳)に関する質問 ・豊島区 保健福祉部 高齢者福祉課 ・メンバー4人の祖父母と両親 ・高齢者の方に対するアンケート(50名) ・学校の生徒の祖父母5名 ・学校の先生方15名 ・論文などの先行研究		
課題 不定愁訴など原因が不明確な高齢者の不眠症状、不眠からくる生活リズムの乱れ。それに伴い、生活リズムが崩れ、フレイルサイクルの要因となりうる運動量の低下や食欲の低下、食欲の低下など心身の不健康に繋がる。		
解決策 朝、日光を浴びてメラニンの分泌を抑制し、14~16時前後(夜間)のメラニンの分泌量を増やすことで体内時計を整える。それと同時に、高齢者の認知症に対する不安感を和らげるために、脳の活性化を促す脳トレを行う。また解決策を習慣づけるために、高齢者にとって得のあるものを提供する。		
next ショートカットを使用してプロトタイプを作成		

プラン名	高齢者団体紹介仲介サービス	プランの概要 利用対象者:20-60代の働く世代で高齢者を親に持つ方。 サービスの流れ ①会社は利用者にNPOを宣伝する ②利用者がNPOとコンタクトをとり、親の趣味や利用したい地域を聞く ③仲介NPOが自治体から事前にご提供いただいている団体の中から利用者に複数の団体を提案 ※NPOを回していくため、NPO運営費は企業に支払ってもらう。 それぞれのメリット: 利用者→アクセスポイントが一番多い職場で課題を解決できる 職場→優秀な人材確保、介護離職を未然に防げる 自治体→高齢者の家族に高齢者団体を間接的に知ってもらえるので、地域の活性化、高齢者の社会参加率が上がることが期待できる
チーム名	vinca rosea	
学校名	武蔵野大学附属千代田高等学院	
メンバー	佐藤桃香、小嶺響平、佐藤紅愛	
自己調査実績 アンケート計3回(合計で123名の方が回答)、高齢者の方9名、一番町特別養護老人ホーム様、うらやす和楽苑様、なぎさ和楽苑様、DAYS BLG様、管理栄養士の方へのイアリング、自治体の福祉課へのアンケート(返答は3件)、大手企業の人事部の方		課題 親(高齢者)に団体を紹介したい子供世代が利用したい地域の高齢者団体の情報にたどり着くことが難しい
解決策 高齢者団体仲介サービス(NPO)を立ち上げ、働く世代(利用者)が一番アクセスポイントがある職場を通じても依頼をいただけるものにする		
next ショートカットを使用してプロトタイプを作成		
next ショートカットを使用してプロトタイプを作成		

プラン名	Comlink	プランの概要 Comlink (ウェアラブルマイク) Noise Cancelling ・皮膚伝導マイク ・スピーカーへ伝導し、拡大する ・既存の扇風機のデザインを参考にしているため高齢者にも受け入れやすい ・皮膚伝導マイクを補聴器とbluetoothで連動させることで補聴器に環境音が入らない仕組み ・1~2m範囲内での2~4人で一人ずつ発言する場での会話 ・原価¥10900、定価¥25000
チーム名	LCCC	
学校名	立教女学院高等学校、女子学院高等学校	
メンバー	宮澤亜紀、平井紀江	
自己調査実績 ・かすれ声に聞こえにくい環境へのイアリング ・高齢者2人の高齢者さんへ声帯機能についてヒアリング ・株式会社yowa代表の方へヒアリング ・LINE A社CEOの方へ音声技術についてヒアリング ・新日本製薬株式会社へMEMSマイクについてヒアリング、製品の提供についてヒアリング ・1人1人訪問されたお家で高齢者さんと施設の方へヒアリング		課題 高齢者への対応は充実しているが、... 高齢者が声を使った意思疎通ができないことには十分な解決策がない これはかすれ声・ガラガラ声、補聴器に環境音が入るため使ってくれない →話す機会・社会交流が減少し、コミュニケーション能力低下によるフレイルサイクルを引き起こす
解決策 Comlinkを使用し、かすれ声をクリアに拡大する(Noise Cancelling)かつ補聴器に入る環境音の問題を解決する(皮膚伝導マイク)		
next ショートカットを使用してプロトタイプを作成		
next ショートカットを使用してプロトタイプを作成		



プラン名	薬服用促進 Medi-pet
チーム名	やわもちーズ
学校名	渋谷教育学園幕張高等学校
メンバー	嶋神諒、笹尾佳音、小日向大和、滝本亮成

自己調査実績

元気スタンドブリズム、東京医学療法医師協会、ふくろうクリニック、ペイタウン「絆」カフェ、LOVOT (Groove X)、老人ホーム、栄養管理士、看護婦、薬剤師その他多数の高齢者の方々

課題

高齢者の方々が、薬服用に対する特別なモチベーションがなく、つい毎日の服用を忘れてしまうこと

解決策

薬を継続して服用させるための多機能な動物めいぐるみ型薬し系ロボット

プランの概要



愛着がわきやすいめいぐるみ型ロボット
プランの魅力
 -薬を飲むことに対して魅力や楽しさを感じることができるため、薬の服用を忘れにくくなる/継続をすることに労力を使わなくてよくなる。
 -薬の服用を怠ることによる健康への被害を防ぐことができる。
 高齢者だけでなく、若者などにも使ってもらえるため、「高齢者用」という不快感がなくなるのではないかと。(高齢者の方々に買ってもらうやすい)
従来のプロダクトと違うところ
 動物などのめいぐるみロボットと融合するというアイデアによって、高齢者の方が使用してくれる可能性が高まる。
 既存のプロダクトは、高齢者に買ってもらうような意欲を掻き立てるようなものでないのが一番の問題点

プラン名	まんんにん畑
チーム名	193
学校名	慶應義塾女子高等学校、フェリス女子高等学校
メンバー	尖戸智花、赤石葵

自己調査実績

高齢者/医師/社会福祉士/高齢者支援センター/通いの場の運営者へのヒアリング、論文調査(～9月)農園へのヒアリング、体験(～10月)

課題

高齢者と若者がお互いに「話題がない」、「話合わない」と感じており、一方に合わせなくてはならないという意識から共通の話題を発見しておらず、その話題を介した交流の場がないこと。

解決策

人手不足/維持に困っている農地で
みんなが共同で農作業、活動する場所
 まんにん畑

プランの概要

いつでも行けば誰かいる、仕事がある まんにん畑

農業×助け合う社会のかたち

①人手不足/維持に困っている農地で
 ②利用者が共同で農作業、活動する

提供するサービス:
 ・農作業ボランティアを募集。様々な媒体を用いて広報し、幅広い世代に来てもらう
 ・コミュニティ形成のサポート:協力して作業するボランティアを行う。また、定期的に新たに野菜を植えられるようにすることで、みんなで1から一つの野菜を育てる 経験を生む。"行けば誰かと作業できる"話せる"場となるよう、毎日今日の仕事や様子を発信する。
 さらに、維持に困っている農地に関しては、耕す所から参加者皆で行う。

農業という一つの目的のために、子供から高齢者までが集い、年齢という壁を気にせず交流する 助け合う機会を生み出します!

プラン名	まごのて
チーム名	明日のお嬢
学校名	日比谷高校 S高校
メンバー	野上佳鈴 水野光 三塚文佳

自己調査実績

・リハラボ高円寺 ・リハラボ和田
 ・ケア24班之内 ・曙クリニック
 ・介護士の鈴木さん ・自分たちの祖父母
 ・同生園

課題

日常生活のちょっとした作業を家族や知り合いに頼むことに対して、**申し訳なさ**を感じる

解決策

お年寄りの困りごと版UberEats

プランの概要

高齢者自身の尊厳を高めつつ、地域交流を生む



①電話で困りごとを音声入力
 ②困りごとが支援者の持つアプリに表示
 ③それを見た高校生がこれから行きますよと電話で連絡
 ④仕事をして、代金を受け取る

アプリを作りました!

プラン名	誤嚥性肺炎の早期発見
チーム名	ハダカデバナズミ
学校名	広尾学園高校
メンバー	川野史帆里・山中麻里江・李尚暻

自己調査実績

シニアマーケティング研究室・地域包括ケアセンターすみよしセンター長・中野共立病院内科医・山中(祖父母、親戚4人)・川野(祖父母)・李(祖父母、親戚1人) 等

課題

誤嚥に気がついていない高齢者が、日々の体調から異変に気づくことで誤嚥性肺炎の早期発見・早期治療につなげる。

解決策

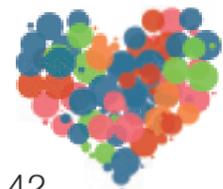
カレンダーに誤嚥に関連する項目をチェック、日々記録し、そのカレンダーを通院時に持っていき、診察に使用することで誤嚥や誤嚥性肺炎の早期発見を促す。

プランの概要

誤嚥による誤嚥性肺炎による死者数は高齢者における死亡者数の7位に位置する。誤嚥性肺炎は高齢者になるほど発見しにくくなり、知らないうちに悪化してしまう。ヒアリングから、自分のちょっとした変化に気がつくことはできるけど忘れてしまったり、慢性的な病気の症状に隠れてしまったりするという問題が見つかった。そこで、体調管理カレンダーを嚥下機能低下のリスクが高い高齢者に病院から渡してもらい、日々の健康記録をとることで隠れた誤嚥や誤嚥性肺炎を見つけ出す。治療薬もあることから、早期治療をすることは誤嚥性肺炎の死者を減らすという目的において大きな役割を果たすと考える。



医師から緊急管理疾患で入院した患者の通院時にチェック表を渡す
 患者が次の通院までに体調チェックを毎日行い、記入する(1ヶ月を想定)
 患者が通院時に病院に持って行く
 医師がこのチェック表を踏まえて診察を行う





プラン名	高齢者の心に寄り添う -I Care You-	プランの概要 コロナ禍で人との「つながり」が薄くなった今、独り身の高齢者は、自宅で話し相手がいないと孤立してしまい、精神的フレイルに陥るリスクが高まる。  自宅で簡単に使える、ヘルスケアロボット "I Care You"を開発！ 日々のメンタル面でのサポートをしてくれる！ 既存のスマートスピーカー、お助けロボットとの相違点 ・既存のものは 高齢者の健康管理に特化したものではない ・会話データから危険度を察知して、緊急時には 専門家とのマッチング を行う。 ・さらに会話データの蓄積とその利用から、 新たな課題発見・解決策創出 も行う Alexaなどのスマートスピーカーは調べたり指示を出す用 おしゃべりロボットは会話や娯楽に特化 ＝二つの融合のものがない
チーム名	nyanPAWS	
学校名	東洋英和女学院高等部	
メンバー	岡本 真凛	
自己調査実績		
祖父母に計4回、介護予防フレイル予防センター等にヒアリング。		
課題		
独り身の高齢者が自宅で話す相手がいなかったために孤立し、鬱病などの精神的フレイルに陥っても自覚できないこと		
解決策		
独り身の高齢者専用の鬱診療に特化したヘルスケアロボットを開発！！		

プラン名	JCFE~Judge Changing Face Expressions~	プランの概要  <ul style="list-style-type: none"> 解決策 <ul style="list-style-type: none"> 患者さんの表情を読み取ってくれる機械を作る。 <ul style="list-style-type: none"> センサーで患者の視線や表情を読み取る。 判断結果を医師に伝え、患者と医師の間で認識のずれが発生することを防ぐ。
チーム名	初山踏	
学校名	渋谷教育学園渋谷教育学園	
メンバー	鈴木海翔、神谷薫、椋梨絢香	
自己調査実績		
<ul style="list-style-type: none"> オトデザイナーズ代表の坂本様へのインタビュー 自宅介護をしている方へのアンケート 		
課題		
医師が患者さんの理解度を把握できていないことによる誤診の発生を無くす。		
解決策		

プラン名	Eldiary(エルダイアリー)	プランの概要 配偶者を亡くし、一人暮らしをしている高齢者は、孤独感や喪失感から、精神的・社会的フレイルに陥るリスクが高い。そのような方を孤独感から解放し、非活動的な生活から脱却できるように、私達は人との繋がりを持つような、高齢者向けの写真投稿アプリを作成するというプランを提案する。 具体的には、いわゆるInstagramやフェイスブックといったアプリの高齢者版を作成したいと考えている。従来のSNSのような写真投稿やメッセージ機能に加え、文字を大きくして読みやすくしたり、対象の方にとって余分/不必要だと考えられる機能を排除することで、高齢者にとってインターネットを利用する上で障害となりうる要素を削除する。使い方の一例として、趣味で作った手芸作品の写真を投稿したり、同じような趣味を持つ人同士で繋がることができる。このプランは、562万人(2015年時点)もいるという1人暮らしの高齢者に有効的に作用する。例えば、同じ趣味の人との交流によって、気分の落ち込みから解放されたり、社会からの孤立も防ぐことが可能であるため、精神的・社会的フレイルからの脱却を期待することができる。
チーム名	Quintetto	
学校名	慶應義塾湘南藤高等部	
メンバー	相賀絵里、魚地紀夏、海部花、永田みのり	
自己調査実績		
高齢者(メンバーの祖父母) 地域医院(医者、看護師、医療事務、高齢患者)		
課題		
配偶者を亡くし、一人暮らしをしている高齢者が、孤独感や喪失感から非活動的になっていること。		
解決策		
高齢者向けの写真投稿アプリを作成する。		

プラン名	オンラインアプリ解説サービス	プランの概要  ①チュートリアルサイト ②動画マニュアル ③説明要員 この3つを用意する。 ①②を予め作っておき、原則参加者全員の連絡先にリンクを送る。 ③については、参加者の希望制かつ有償で、地域の配達員などが、訪問時に家で説明してくれる。①と②の解説及び練習、後で見返せるよう2つのリンクの開き方などのレクチャーまで説明要員がしてくれる。
チーム名	しらたま	
学校名	都立日比谷高校	
メンバー	棚橋、菱田、笠尾、中谷	
自己調査実績		
メンバーの祖父、メンバーの祖母、精神科医の方、介護士の方、ゆいま〜高島平様 在籍されている高齢者の方々へのアンケート(実施中)		
課題		
退職後、健康にも興味があり、人との関わり合いにも積極性があるが、オンラインイベントやIT機器への苦手が払拭されないために、特にコロナ禍の今、コミュニティに出かけたり、特に健康関係のイベントに参加することができないこと。		
解決策		
オンラインセッションに用いられるアプリの説明、練習を念入りにしてITへの苦手意識を払拭させる。		



プラン名	じゅどけいアプリ
チーム名	愛優花
学校名	八千代松陰高等学校
メンバー	飯田優莉・石崎愛実

自己調査実績

ヒアリング: 5件(八千代市役所健康づくり課・佐倉市高齢者福祉課・東京大学高齢社会総合研究機構・SOMPOケアラヴィーレ八千代・優都苑)
インタビュー: 1件(八千代市中央図書館前計25名+友達)

課題 運動をする機会がコロナで激減
+
コロナで地域の人との関わりが激減
→フレイルになりやすくなる

解決策

地域の人と一緒に運動をしているかのようなものを作る
運動をしてくれるように促せるものを作る

プランの概要



上には自分が自宅からどのくらい動いたのか。また、どのくらい上下運動をしたのかがわかるようになります。
下には今までの記録の合計+本日の記録が表示されます。

〇〇さんの記録です

総歩数	本日歩数
総距離	本日距離
自宅〜〇	自宅〜〇
総cal	本日cal

今月のランキング in 〇〇市

1位	〇〇さん	△△km	♥♥♥
2位	〇〇さん	△△km	♥♥
3位	〇〇さん	△△km	♥

あなたの順位 3位 △△km

3位！おめでとうございます！！
よく頑張りましたね！
毎日体まずに運動できているスゴいです！明日からも無理はせず頑張ってくださいませ！

あなたの順位に13人が「いいね」してくれています

プラン名	レシート家計簿
チーム名	もえるちんあなご
学校名	立教女学院高等学校
メンバー	池田彩乃、山田真矢、窪田万亜子、梅根ノア

自己調査実績

内田様 ヒアリング
志津様 ヒアリング
介護者支援へのヒアリング
その他介護者様五人へのヒアリング
高齢者福祉施設ヒアリング

課題

認知機能が低下してからも、自分自身でお金の管理をしたいと考えている「認知機能の低下が起こる前段階」の人が認知症と診断されてから真にかけても実生活に取り入れる/実行することが難しいため、認知症診断前から対策することが理想的なのに、お金の管理は記録がめんどくさいので認知症になる前から習慣化できない

解決策

レシートを挿入したら情報が簡易化されてレシートの裏面に印刷して排出される小型コピー機

プランの概要

買い物から帰ってレシートを挿入すると、中でデータを分析し、必要な情報のみ(金額のみ)をピックアップし、レシートの裏面に印刷されても取ってくる。そのままそれを補完することによって、いわゆる家計簿のようになるため、いちいち家計簿に記入する必要性がなくなる。



プラン名	考え方を根底から変えよう！〜教育現場に改革の風を！〜
チーム名	運命共同体
学校名	都立日比谷高校
メンバー	戸川心優、石井杏理、上野敦広、浦田七桜

自己調査実績

メンバー5名へのヒアリングによる課題抽出
生活圏別・年齢別・性別別のフレイルに関する意識調査
都立日比谷高校生徒へのアンケートを実施し、質問13から10項目に絞った調査結果をまとめた
フレイルに関するアンケート、実施可能。地域性からの課題、工夫できる点などの調査、どのようすれば改善しやすくなるか
生活圏別・年齢別・性別別のヒアリング、課題抽出
本調査にアサインされた高校生へのヒアリング、調査を実施している施設での調査、実証的ヒアリング

課題

そもそも日本人のフレイルに対する関心がまるでなく、お年寄りが必要としていることに若い世代が対応できていない。

解決策

次世代を担う若者のフレイルへの深い関心、理解を促すため教育カリキュラムにフレイルに関するボランティアやフィールドワークを組み込むことで若者たちのフレイルへの考え方を根底から変える

プランの概要

お年寄りと若者の相互的協力、理解を促すために地域運動を活性化させるプランを考えた。
学校側でボランティアや地域問題の調べもの、また祭りの開催の際の運営を積極的に行うというカリキュラムを文科省が小学校の総合や保健の授業に組み込み、ほかの教科と同じ成績、評価もつけることを可能とすることで若者のフレイルへの関心が高まることを目標とする。このプランによって若者のボランティア参加へのハードルを下げると同時に地域の活性化といった問題の解決にも繋がるであろう。

解決プロセスのイメージ



解決する際のポイント

- 安全を守る
- 協働学習を推進
- 地域活動への参加
- お年寄りの生活が「見守り」で支えられること

プラン名	Heart UP! (はーとあつぷ)
チーム名	恋堂。
学校名	豊島岡女子学園高等学校
メンバー	市川理恵 谷口明穂

自己調査実績

入院経験者、高齢者、理学療法士、看護師、薬剤師、作業療法士、医師、ケアマネージャー
合計29名

課題

高齢入院患者がリハビリにおいて、機会はあるのに、自分の成長を感じられないこと。

解決策

同じリハビリを頑張る仲間、成長を褒めてもらえる機会を作る。

プランの概要

〈STEP1〉
リハビリ終了後に、担当の理学療法士さんが患者さんの成長を専用のアプリから投稿。

〈STEP2〉
各部屋に一台閲覧用のタブレット端末が設置しており、患者さんが画面上の♡をタップするとハートが送られる。

※高齢者の操作について
タブレット端末の近くに、「タップで♡が送れる」という説明書きを貼っておく。

※プラン名の由来
リハビリをして「Heart UP」、ハートを送るので「Heart UP」、ハートを買って、心が温まるのとリハビリへの意欲上昇で「Heart UP」。

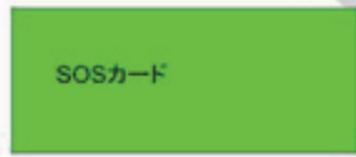




プラン名	HELPボタンで相談しやすい環境を
チーム名	フォース
学校名	宮城県仙台二華高等学校 岩手県立一関第一高等学校
メンバー	宮崎ひなた 小野寺咲英
自己調査実績	ヒアリング先 ・メンバーの祖父様・宮城県庁住民課・アイホン株式会社 ・仙台市健康福祉局保険高齢部地域包括ケア推進課 ・伊予市立五ノ宮・宮城民医連・大坂民医連 ・いろどりの丘・医師(リハビリ科)
課題	災害公営住宅の住民の孤立や相談のしにくさにより、心理的フレイル、身体的フレイルに陥ること
解決策	HELPボタンを各家庭に導入し、行政や病院との繋がりを確保するとともに相談しやすい環境をつくる
プランの概要	<p>HELPボタンについて</p> <p>連絡がいく病院の切り替え用スイッチ！</p>  <p>・ボタンに地域包括支援センターと病院の電話番号を登録しておく ・ボタンを押すと行政・地域包括支援センターまたは病院に連絡がいく ・病院はかかりつけ医や総合病院など時と場合によって異なるべき病院に連絡が行くようマニュアルを作成し、切り替えスイッチもつける ・各所の対応として、地域包括支援センターでは高齢者の相談にのったりリサービス等を紹介し、病院では診察したり薬を配達する ・HELPボタン導入前後の地域包括支援センターへの相談件数で評価する</p> <p>緊急時以外にも、ちょっとした健康面の変化や家庭内のことを気軽に相談しやすい環境を作ることでフレイルを防ぐ！</p>

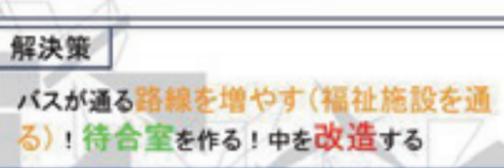
プラン名	未定
チーム名	夢がモリモミ
学校名	聖光学院中学校
メンバー	初山 大空
自己調査実績	近所に住んでいる高齢者8人と祖母への数度のヒアリング。
課題	地域での交流をとれていない高齢者が町内活動に参加できるようにハードルを下げる。
解決策	複数人で町内活動に参加することによって、ハードルを下げる。
プランの概要	<p>既に参加している高齢者の周りで、参加出来ていない高齢者を探す。</p> <p>↓</p> <p>高齢者2,3人の子供・孫(特に孫)同士で話し合い、お互い高齢者の情報(趣味や、今どんな生活を送っているか)などを共有する。相手のことを知った上で会うことで初対面の人と会う際のハードルを下げる。</p> <p>↓</p> <p>高齢者が実際に会い、関係を深める。</p> <p>↓</p> <p>一緒に町内活動に参加する。</p>

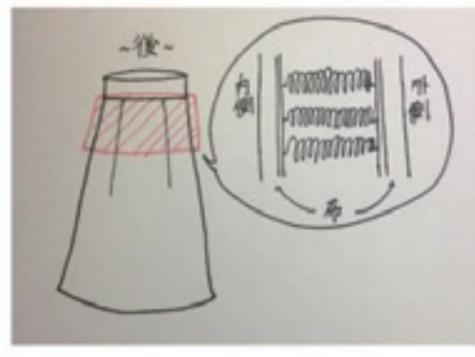
プラン名	うたいふ
チーム名	ハーモニー
学校名	
メンバー	
自己調査実績	(ヒアリング先・アンケート先) 東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島勝夫先生 遠藤内科クリニック 遠藤先生、東芝林間病院 西成真琴先生 鎌倉市社会福祉協議会、みらいふる里会(老人会) デイサービスコスモス、グループホームえん、藤越なごやかセンター、東倉、FOLKkoshigoe、れんたるすべすべつちや
課題	日常的な動作でのかすれ声や清舌の改善に取り組める
解決策	高齢者のスマホユーザーがコミュニケーションツールとして最も魅力を感じ、最近高齢者の利用者が急増しているLINEを主体として、楽しみながら継続して喉や舌周りの筋肉を鍛えられるアクティビティをブラウザで提供する。
プランの概要	<p>LINEのリッチメニューを利用する。リッチメニューから、主に7つの機能が利用可能。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.カラオケ 採点機能が一般的採点方法に加え、かすれ・かすれ・清舌も採点。 2.カラオケ、パタカテストの結果 過去の採点記録やパタカテストの結果の推移をグラフ化、可視化。 3.カラオケの習慣化のための声かけ 毎日カラオケを利用してもらうようメッセージを送る。 4.パタカラ体操、パタカテスト 膝下機能の回復が見込まれる、簡単な体操やテストを実施する。 5.ライブ配信機能 みんなの前で歌いたい人がオンラインで自分の歌を披露できる。 7.定期的な声を使ったイベントを開催。 プロジェクト例:ある合唱歌を皆で歌う。それぞれが、個人や複数の人と歌っているところを撮影し、その動画を編集して歌声をつなげて一つの動画として作り上げる  <p>①1のカラオケの採点画面。</p> <p>②2のLINE画面。</p>

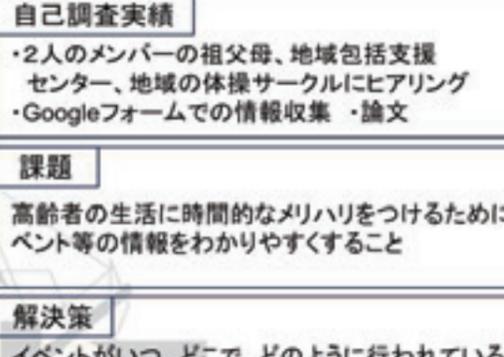
プラン名	No problem, I can
チーム名	City river
学校名	市川高等学校
メンバー	小泉 横田 加藤 宮崎
自己調査実績	東京大学附属病院老年病科の先生 パーキンソン病友の会(東京、千葉、埼玉)の会員10人
課題	周囲に同情されたり無駄に気を遣われたりすることが多く、周りの人たちに自分がパーキンソン病であるということを出せないうえ、症状について相談できる人がコミュニティの中におらず、病気に関するストレスを自らの中に溜め込んでしまうことにより鬱になってしまうこと。
解決策	助けて欲しいときにSOSカード(パーキンソン病の方のためのマーク)の色を変える
プランの概要	<p>通常時</p>  <p>助けて欲しい時</p>  <p>助けて欲しい時には赤い色で周りの人の注意をひく 緑色の時には声をかける必要がないので過度な心配を受けなくて済むためストレスがなくなる</p>



プラン名	DOLDRUMSAWAY	プランの概要 端的にまとめると、高齢者の購読率が高い(70%以上)である新聞のコラムの興味ある分野を分析して集計して、文化的活動につながる趣味を提供する。具体的なプロセスは以下。 1 高齢者の使いやすさを考慮して専用のペン/FAXマシンに似た作りのスキャン機(どちら も安価)を製造 2 ユーザーは新聞の興味ある記事にチェックを入れて機械にポンと置くだけ 3 「読み取り機の上についたカメラ+ページめくり」で記事を読み込んでデータにまとめる 4 十分量のデータに達すると、傾向を分析して続きそうな趣味を提案 5 続けられる+もっと多くの人を巻き込む為のコミュニティを作成、提示
チーム名	超光栄	
学校名	聖光学院	
メンバー	趙泓春、松村圭吾、松村匠吾、向山雄登	
自己調査実績 フレイル予防の第一人者の1人大内先生 祖父母、祖父母の知り合いの方々にヒアリング		 プロダクト概要
課題 仕事を基準に規則正しい生活が送れていたが、退職を機に生活のリズムが乱れ、暇な時間にやることのアテもなくなった人々のフレイル進行が加速してしまうこと		
解決策 退職後の高齢者に日々の生活のケジメとなるような習慣づくりができるプロダクトを提供し規則正しい生活を取り戻していただく		

プラン名	バスで広げる介護の輪	プランの概要 高齢者にとって歩くということは、とても大変だと思う。しかし、バス停まで歩くことによって健康にもつながるし、歩くことで、自然に触れ合ったり、地域とのつながりを広げることが出来る。運行ダイヤは、市中心部行きの路線バスに乗り継げるよう設定し、待ち時間が少なくなるように工夫。 そして、バスの待合室を作る。ずっと立っていることは楽な事ではないし、歩いた後に体をリフレッシュできる場所が欲しいと思った。また、待合室があれば、誰もが気軽にバスを使うようになると思う。待合所には、足湯が出来たり、風景を楽しめる場所だったり、写真スポットだったり、お勤めの広告が貼ってあったり、また、トイレや自販機を設置する。バスの中の椅子を折り畳み式にすることで、広くなり、ベビーカーや車いすの人々も気軽に使えるよう、工夫する。
チーム名	あしなが	
学校名	佐野日本中等教育学校	
メンバー	石原紀菜・坪内千名・林咲結理・廣瀬乃々佳	
自己調査実績 バスがないために福祉施設へ行けず、困っている高齢者がいる。バスの路線を増やすことで外出が楽になるという高齢者が多くいる。		 解決策
課題 高齢者が社会的フレイルにならないように交流活動の輪を広げること		
解決策 バスが通る路線を増やす(福祉施設を通る)! 待合室を作る! 中を改造する		

プラン名	すぶりんぐあつぷ。	プランの概要 腰周りにばねが内蔵されている衣服を着用することで、転倒時に衝撃が緩和され大腿骨の骨折を防ぐことができる。 イメージ図は以下の通り。
チーム名	とっぽ	
学校名	公文国際学園	
メンバー	真野翠 田中杏梨	
自己調査実績 老人ホームの職員へのヒアリング メンバーの祖父母へのヒアリング ビジコン二次予選でフィードバックをいただいた		
課題 高齢者が転倒した際にその衝撃を和らげ、骨折を未然に防ぎ寝たきり状態になるのを防ぐ		
解決策 高齢者の方でも簡単に着られる衣服で、腰の部分にばねが内蔵されており、大腿骨骨折を未然に防いでくれる商品。		

プラン名	参加の輪を広げるための活動の可視化	プランの概要 このプランで解決したい問題は ・高齢者の生活には時間的拘束が少ないため、就寝起床時間等の生活リズムが崩れてしまうこと ・イベント等の告知が少なく、実際の様子もわかりにくいことから参加に繋がりにくいことである。 このイベント告知カレンダーアプリでは ・カレンダーを用い「いつ」をわかりやすくする ・地図を用いて「どこで」をわかりやすくする ・活動の写真を掲載して雰囲気や伝えたり、活動参加者の年齢や性別を併記することで、参加への心理的障壁を軽減する ・ジャンルを区分することで個人の興味にあったイベントを提案することを実現し、高齢者の地域イベントへの参加を促す。 このプランを通して、高齢者がメリハリのある生活を送ること、活動参加者の輪を広げることが私たちの狙いである。
チーム名	Out of Control	
学校名	群馬県立前橋女子高等学校・愛知淑徳高等学校	
メンバー	清水美結 四宮彩名	
自己調査実績 ・2人のメンバーの祖父母、地域包括支援センター、地域の体操サークルにヒアリング ・Googleフォームでの情報収集・論文		
課題 高齢者の生活に時間的なメリハリをつけるために、イベント等の情報をわかりやすくすること		
解決策 イベントがいつ、どこで、どのように行われているかを可視化するカレンダーアプリ		

inochi Gakusei Innovators' Program 2021 KANAZAWA

テーマ説明

心臓突然死について考える

心臓突然死とは、主に不静脈によって心臓が正常に機能しなくなり脳に血液が循環せず死に至る疾患です。

近年、心臓突然死で毎年約8万人の方が命を落とされています。そのうちのおよそ80%が60歳以上の高齢者ですが、20歳以下の若者や子供でも心臓突然死になるリスクは大いにあります。また、心停止した人の1か月後の生存率は6.0~7.7%と極めて低いです。心停止してから1分経つごとに生存率が10%も下がり、蘇生されたとしても脳に大きなダメージが残ることがあります。つまり、心臓突然死から命を救うために、その場に居合わせた人による救命行為(心臓マッサージ及びAEDによる除細動)が必要不可欠だということです。また、心停止の起こる場所の約66%が住宅(特に居室、浴槽)です。

心臓突然死を引き起こす要因は大きく3つあります。生活習慣病によるもの(後天的に心臓病を患うケース)、事故によるもの(胸部にものが当たる溺れる等突発的な事故によるケース)、先天性のもの(先天的に心臓病を患っているケース)です。

私たちが取り組む課題は、単に心臓突然死といっても多岐にわたります。心臓突然死の予防、予測、発見、通報、救命、搬送等です。まだまだ多くの切り口がこの問題には存在すると思います。未だ解決されていない問題を高校生とともに見つけ、解決し、多くの命を救いたいです。

代表挨拶



inochi Gakusei Innovators' Program
2021 KANAZAWA 代表
金沢大学医薬保健学域医学類2年

橋本 晃貴

5人に4人

あなたはこの数字が何の数字かわかりますか?

この数字は心肺停止状態で救急搬送された方のうち亡くなる方の割合です。

愛する人、大切な友人はもちろん目の前で人が倒れた時、私たちは助けたいと願うものです。その純粋な願いを胸に 119 番通報をし、懸命に助けようとして。そして救急隊が到着したときにはホッとして安心することでしょう。病院に到着すればより一層ホッとするのではないかと思います。しかし、現実には儚く悲しいものです。

8.7分

救急隊が現場に到着するまでには平均で約 8.7 分かかります。

心肺停止状態になってから通報に至るまでを考慮すればおおよそ10分もかかっており、救急隊が到着する頃には回復が難しくなっているという現実があります。

医療者ではなく市民が救う命

5人に4人が助からないという現状を変えることはできないのでしょうか?

これらの方々には本当に救えない命だったのでしょうか?

本当はもっと多くの方の命を救うことができるのです。

命を救う鍵は居合わせた方による救急隊到着前の一次救命処置の実施と発症前の早期発見です。私たちは医療者の視点からではなく、まだ何物にも染まっていない高校生の柔軟な視点から心臓突然死問題を見つめ、市民が主体となって真に命を救うことができる解決策を創出することを目指しました。

想いを繋ぎ、救える命を必ず救う~代表の想い~

私は高校生の時、inochi 学生フォーラム(本プロジェクトの前身)で心臓突然死問題に挑戦しました。その際に、心臓突然死で大切な娘様をなくされたお母様のお話を拝聴する機会に恵まれました。大切な娘さまを突然奪われた悲しみはとても言葉にできるものではないにもかかわらず、その方は2度と同じ悲しみを生み出さないために懸命に活動されており、その方のお話がきっかけで「救える命は絶対に救う」と決心しました。

「挑戦の途中」

救える命は必ず救い、人々の幸せを守る。

私たちはそのような社会を金沢から実現することを目指して活動しております。本日は皆さまに私たちのこれまでの歩みとこれからの夢をご紹介します。

今年度教育プログラム

ABOUT

i-GIP 2021 KANAZAWAの教育プログラムで私たちが中高生に伝えなかったこと。それは、学びは机の上では完結せず、そして一人でも完結しない、ということです。私たちは学校で教えられるような事物を学びとは呼びません。学びとはもっと大きなものであり、他人から押し付けられるものではなく、自ら考えたこと、思ったことに端を発するものであると考えます。私たちはその部分に徹底的に動かししました。頭を動かし、口を、手を、耳を動かし、他者と交流し共有していく。そのプロセスから感じ取ったこと、思ったこと、考えたことを新たなアイデアとして発散していくこと。金沢の教育プログラムの真髄はここにあると思います。

それを達成するために、金沢の教育プログラムでは4つのテーマを定めました。

心臓突然死について自分事として理解する大きな問題意識の提起

デザインシンキングを始めとする思考フレームワークの取得

「伝える」「伝わる」プレゼンテーション・ピッチ技能の取得

何よりも「楽しい」「ワクワクする」と思ってもらえる充実の教育プログラムDay

私たちの願い

まずは心臓突然死の現状を知る。そして、現場へ赴き救急隊員や心臓突然死で家族を失われた家族の方へのヒアリングなどを通じ、生の声を聴く。リアルにこだわってほしい。そこから真の課題解決が始まると考え、観察・共感からプランの創出へ励みました。

「リアル」から、中高生の手によって生み出されるフレッシュなアイデアをより広くたくさんの人に伝え、社会を、世界を動かしていくためには聞く人々を魅了する表現技法の取得が必要不可欠です。そのため、私たちは課題解決の技法を伝える「創る」ことを考えることに留まらず、「伝える」ことも考え、中高生と共に成長してきました。そして私たちはi-GIP 2021 KANAZAWAを修了した中高生が、医療分野に留まらず、様々な分野で広く活躍してくれることを期待しています。i-GIP 2021 KANAZAWAが終わってもここで得た学びをアップデートし、使い続けてもらう、そのために教育プログラムのゴールとしても「楽しい」「ワクワク」を据えています。ここでの学びをアップデートし、使い続けてもらうことこそがより良い金沢を創ることに直結していると考えたからです。そして、そんな経験を提供できるのは私たちしかないと自負しています。いつかどこかで、修了した中高生の名前を再び見聞きすることを期待しています。

07/11 KICKOFF

参加者全員が始めて一堂に会したこの日。命の大切さ、私たちが取り組む問題の大きさを体感しました。i-GIP 2021 KANAZAWA、はじまりの日です。

▶ゲスト

澤芳樹/大阪大学大学院医学系研究科 特任教授・大阪警察病院 院長
岡島正樹/金沢大学附属病院 救急部 部長



07/18 DESIGN THINKING DAY

イノベティブなアイデアを生み出すための思考フレームワークである、デザイン思考のレクチャーと実践からアイデア創出の基礎を学びました。

▶ゲスト

田端俊英/富山大学学術研究部工学系・工学部知能情報工学コース



教育プログラム

07/25 COMMUNITY×TECH DAY

心臓突然死がどれほど深刻な問題なのか、どこに課題を抱えているのか、ゲストと実際に実地でのAED探しや心臓マッサージ体験を通じて全身で体験しました。

▶ゲスト

桐田寿子/NPO法人いばらき救命教育 AEDプロジェクト理事・NPO法人ちば救命 AED普及研究会・ASUKAモデル関係遺族
鯉江宏樹/株式会社Unity 代表取締役
機材協力:金沢大学医薬保健学域医学類



08/09 PROTOTYPING DAY

頭で考えたアイデアを形にすることで新たな学びや気づきを得られる。それを実現するために大切なプロトタイピングについてレクチャーを行いました。

▶講演者

小堀拓磨/i-GIP 2021 KANAZAWA 副代表・教育プログラム統括・金沢大学人間社会学域国際学類米英コース4年

08/21 PRESENTATION DAY

アイデアをより多くの人へ伝えるために必要不可欠なスキルであるプレゼンテーションについてのレクチャーから、技能を習得しました。

▶ゲスト

薬王俊成/WAKAZO元執行代表・日本赤十字社和歌山医療センター
wild idea/2016年度inochi 学生フォーラム 最優秀賞

09/05 中間発表

これまでの課題解決の成果を審査員の方々へプレゼンを行い、これから何をすべきかを再設定しました。

▶審査員

田端俊英/富山大学学術研究部工学系・工学部知能情報工学コース
薬王俊成/WAKAZO元執行代表・日本赤十字社和歌山医療センター
増田奈保子/inochi WAKAZO Project 元代表・大阪大学医学部医学科4年
橋本晃貴/i-GIP 2021 KANAZAWA 代表・金沢大学医薬保健学域医学類2年

09/19 MENTORING DAY

中間発表の結果を受けてこれからの期間で何をすれば自分たちのアイデアがさらに伸びていくのか、過去の修了生やメンター経験者からアドバイスをもらい、アイデアを磨きました。

▶ゲスト

山本雄貴/株式会社ドローンショー代表取締役
増田奈保子/inochi WAKAZO Project 元代表・大阪大学医学部医学科4年
中原楊/i-GIP 2020 KANTO 代表・慶應義塾大学医学部医学科3年
岡田沙季/i-GIP 2016 KANSAI修了生・慶應義塾大学総合政策学部4年

10/10 メタ認知DAY

金沢最終フォーラムまでの1ヶ月間、高校生達がアイデアに磨きをかけるために、相互批評の時間を通じて自分たちを客観視する力を習得しました。

10/24 プレゼン練習DAY

金沢 inochi 学生フォーラムへ向けてプレゼンテーションの練習を行いました。

▶ゲスト

安田有輝/i-GIP 2015 KANSAI 修了生NISHIYAMATOメンバー・金沢大学医薬保健学域医学類4年

11/17 金沢 inochi 学生フォーラム

inochi WAKAZO Forum 2021への登壇権をかけ、各チームが最後のプレゼンテーションを行った他、基調講演などで命の大切さを再認識しました。

▶ゲスト

岡島正樹/金沢大学附属病院 救急部 部長
米田隆/金沢大学融合系教授
田端俊英/富山大学学術研究部工学系・工学部知能情報工学コース
桐田寿子/NPO法人いばらき救命教育 AEDプロジェクト理事・NPO法人ちば救命 AED普及研究会・ASUKAモデル関係遺族
石見拓/京都大学環境安全保健機構健康管理部門附属健康科学センター予防医療学分野教授
小西正則/金沢市消防局指導救命士



inochi Gakusei Innovators' Program 2021 TOKUSHIMA

テーマ説明

産後うつに着目した理由は、自分が守りたいと思った「家族の絆」形成が赤ちゃんが生まれて家族になったばかりの最も初期の段階で行われることを知ったからです。

これまでの「育児は1人でできるもの」「赤ちゃんはお母さんが勝手に育ててくれる」と言ったメッキは女性の社会進出や核家族化の進行により剥がれてきました。これからの時代、育児に参加できない旦那さんへの奥さんからの愛情はとて低くなります。

また、今や4人に一人が産後うつとまで言われ、お母さん一人で子育てをさせる社会に限界がきていることがわかります。育児疲れで心身ともに疲弊してしまい、子どもにも、自分のパートナーにも愛情を感じなくなり、ひどい時には自殺、虐待、子殺し、愛着障害の誘発、父親の産後うつなど周囲へも悪影響が広がります。そんな状態で健康な家族の絆が養えるでしょうか。今こそ、私たち若者から「当たり前」を改めて問い直す必要があります。

この連鎖を断ち切り、子育てをもっと伸び伸び生き生きと、そして健康的な家族の絆が形成され、生み出される幸せな家族で社会を満たせられるように私たちができること。産後ストレスの軽減はまさにその一歩であると考えました。

「全ての家族がお互いを愛す世界」
そんな世界の実現を目指します。

代表挨拶



inochi Gakusei Innovators' Program
2021 TOKUSHIMA 代表
徳島大学医学部医学科5年

福本 和生



徳島に「inochi Gakusei Innovators' Program」を立ち上げて一年が経とうとしています。まず始めに、ここまで一緒に取り組んでくれたメンター、サブメンター、コアメンバー、クリエイティブメンバーの皆様にご感謝を伝えたいと思います。私1人の力では間違いなくここまでたどり着けていませんでした。

初年度で、休みや給料ももちろんなく、大学の授業・課題をこなしながらの大規模な運営は非常にタフで厄介なものであったと想像に難くありません。

本当にありがとうございました。

さて、この一年私たちは何を徳島にもたらすことができたでしょうか？

元々、進む超高齢社会を背景に、若者と大人を隔てる壁を取っ払うべく、双方に交流する理由を設定する「若者の力でいのちを守る社会を創る。」を理念としたヘルスケア課題解決創出プロジェクト「inochi Gakusei Innovators' Program」を導入しました。これは、現在ほとんど交流の無かった、知識や技術を吸収したい若者と蓄積した知識と熟練した技術を持つ大人をシームレスに繋ぐ仕組みを作るために、繋がる理由となる課題を、数あるヘルスケア課題の中から毎年策定し若者たちで解決に向けた試行錯誤の挑戦を続けるプロジェクトです。

「学生に課題解決など出来るものか」

「余計なことはせずに勉強しろ」

そのような声もよく聞きました。しかし、当事者の思いを知るために行われる頻回のヒアリング等で、中高生の真摯に課題に取り組む姿勢が評価されてか

最近ではちらほら

「若者から産後うつ、ひいては子育てに興味を持ってきて嬉しい」

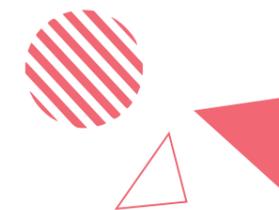
「本当にこの子たちなら悩みを解決してくれそう」

という声を聞くことが増えました。アンケートをとると中高生側でも、大人に話しかけに行くことに抵抗を感じる人が減った、と答える人が増えており、まだ始まったばかりですが、順調に若者と大人の架け橋になるという目的が達成されつつあると感じています。

ですが、まだまだ第一歩が出たばかり。

i-GIP徳島は今後もヘルスケアに興味のある若者が社会とのつながりを感じ、自分の「やりたい」を発見、挑戦できる、またそんな若者を「面白い」とサポートしてくれる大人たちで構成される循環型社会の創造を目指して邁進していく所存です。

ぜひこれからも応援のほどよろしく申し上げます。



今年度の活動について

開催イベント

05/15 i-GIPマッサーヂ

吉野川市のオンライン育児コミュニティ「つながる子育ての森」さんに出張マッサーヂをして参りました。マッサーヂをしながらお母さんたちのお話を伺います。いつもお世話になっている人に少しでも恩返しのできた良い1日でした。

08/12 Special Talk Session vol.1

重見 大介 先生

遠隔診療アプリ「産婦人科オンライン」を運営している産婦人科の重見大介先生に「コミュニティとテクノロジーを使った新しい妊産婦のメンタルヘルスケア予防について」レクチャー後、座談会をしていただきました。産婦人科×公衆衛生で初めて可視化された自宅にいるお母さんたちの正確なメンタルヘルスデータに基づいてのお話はとてもわかりやすかったです。



09/29 Special Talk Session vol.2

水野 敬也 先生

「夢をかなえるゾウ」を代表作とし、その他多数の啓発本を出してこられた作家の水野敬也先生と「これからの環境と子育て」について座談会を行いました。恋愛や結婚出産について、ざっくばらんにお話しさせていただき、予定時間を過ぎてまで質問がなくなるという熱い会となりました。



09/25 ランニングC実行!

9月は「がん撲滅month」ということで、「注文を間違える料理店」を企画した小国士郎さんらが主催するdeleteC大作戦に携わらせてもらいました。「市民一人一人の力でがんを治せる病気にしよう」の思いの如く、徳島ではがん研究にカジュアルに関与するため市内を走って各参加中高生に「C商品」を届け、deleteを共に行う「ランニングC」を行いました。詳細を知りたい方は「deleteC大作戦2021」で検索!

10/09 FLS×GIP -若者よ大志を抱け-

徳島大学の「蔵本外国語研究会」とコラボイベントを行いました。世界の産後うつ事情について海外の論文や取り組みをもとに調べて発表を行います。また、今後のために英語論文の調べ方や医学英語についてのクイズ大会も行いました。

10/10 Panel with ○○

2050年の未来を考える「ムーンショット計画」に選出された東北大学チームと精神科医の先生を巻き込み「夢と希望溢れる未来の子育て」についてパネルディスカッションを行いました。現実を考慮しつつどんな未来があったらいいか、どんな未来にしていきたいかについて中高生の率直な考えをもとに議論しました。



今年度教育プログラム

07/11 第1回 KICK OFF

半年間にわたるプログラムのスタートを切るとともに、デザイン思考のファーストステップである共感・観察への理解を深めました。

▶ゲスト

大谷 香澄/株式会社シルバーウッド
 苛原 稔/徳島大学大学院 医歯薬学研究部研究部長
 寺本 将行/inochi WAKAZO Project創設者



07/22 第2回

徳島県の産婦人科医会会長から徳島の妊産婦のメンタルヘルス現状を伺ったのち、助産師さんへのヒアリングでは事前に準備した質問をもとに課題の発散のためのヒントを得ました。

▶ゲスト

春名 充/徳島産婦人科医会会長
 坂本 めぐみ/公立小松大学
 他、徳島大学助産師2名

08/08 第3回

講演やワークショップを通して、産後うつ研究の最新の知見を得るとともに、基礎医学の重要性に気づく1日となりました。午後からの1分ピッチでは中間発表に向けてイメージをつかみました。

▶ゲスト

尾崎 紀夫/名古屋大学教授 精神科医
 八木 新之助/2019年度 i-GIP優勝チーム生
 安藤 哲也/NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

08/27 中間発表会

はじめて外部の方から自分たちの自分たちのアイデアを批評され改めて進むべき道を模索する中高生。自分だけではたどり着けない景色への第一歩です。

▶ゲスト

西山 知恵子/アンター株式会社取締役COO
 大島 由起雄/NPO法人きずなメール・プロジェクト代表理事
 原田 剛/株式会社ワイヤーオレンジ代表取締役社長



09/04.05 MENTORING DAY

▶ゲスト 川竹 絢子/WAKAZO 元執行代表

09/12 第4回

漫画コウノドリモデルとなった荻田先生のご講演では産後うつとホルモンの関係について興味深いお話を伺いました。プロトタイプ作成では、他チームとの交流を通してお互いに刺激を受け合うこととなりました。

▶ゲスト

八木 雅和/大阪大学医学系研究科特任准教授
 荻田 和秀/りんくう総合医療センター産婦人科

09/26 第5回

ピッチコンペを通して社会実装に向けた具体的なアドバイスを頂きました。カードディスカッションやパネルディスカッションではSRHRについて主体的に学ぶ最高の機会となりました。

▶ゲスト

木村 正/日本産科婦人科学会理事長
 徳島ニュービジネス協議会の皆様

11/03 最終発表会

それぞれの思いを胸に、半年間の集大成を発揮しました。この半年で学んだことを次のステージで生かせるようこれからもいのち輝くために学び考え続けます。

▶ゲスト

天辰次郎/株式会社Asuken Inc. 執行役員兼COO
 服部伴之/株式会社ファーストアセント代表取締役CEO
 北岡和義/徳島大学教養教育院創成科学教育分野准教授
 産業院教育・経営支援部門長
 森脇智秋/徳島県助産師会
 太田恵理子/合同会社ハビリテ代表
 宮城治男/NPO法人ETIC設立者



inochi Gakusei Innovators' Program in MALAYSIA

これまでinochi WAKAZO Projectは主に国内で課題解決プログラムを行ってきました。しかし、今年度はその活動をマレーシアにも展開させ、オンライン上においてマレーシアの大学生と日本の大学生による課題解決プログラムを行いました。我々は、マレーシアにおいて依然主要なヘルスケア問題となっている「デング熱」をハッカソンのテーマとして選び、マレーシアの大学生と積極的にコミュニケーションを取ることで、その課題解決に挑戦しました。

1日目

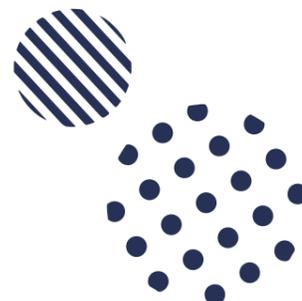
メンターである八木雅和先生のご講演より、どのように課題設定を行うべきかという方法論を学びました。また、講演の後グループに分かれて何回かブレインストーミングを実施し、国境を越えて親睦を深めつつ、実際に課題設定を行いました。

2日目

1日目の内容を踏まえて、各グループが課題解決の仮案を作り、発表を行いました。発表の評価を八木先生から受けた後、マレーシア現地で実際にWHOで働かれている田中先生から、マレーシア現地でどのようなデング対策が行われているかを学び、課題解決プランの具体的な実装について考えました。

3日目

2日目以降、これまでの講義やグループ間の意見交換を踏まえて、各グループが、それまで設計した課題解決プラン・プレゼンに更に磨きを掛けるべく努力しました。そして最後に、活動の集大成として、5名の審査員の方々の前で最終プレゼンを行いました。



アイデアシート

● 優勝チーム『Capture』

Plan name	Capture
Team name	Capture
School name	Universiti Malaya, The Jikei University School of Medicine, International University of Health and Welfare
member name	Ting Hui Chin, Rachael Chin Kit Yi, Chan Junji, Yu Takaizumi, Yui Koyabu
Survey we did	<ul style="list-style-type: none"> - Interview 3 dengue patients to ask what have they done to prevent dengue - Approach PKD to ask the preventive measure and management of breeding site - Interview Dr Sazali (ID) to find out the root of problem of dengue in Malaysia. - Approach Prof Lucy (Paeds) to understanding the real situation of dengue in Malaysia.
Problem	While much was invested and measures were done, dengue still remain the problem in Malaysia due to attitude of people towards taking action in prevention of dengue (eliminating breeding site), especially people in high risk area like Selangor.
Solution	An App, Capture, is created for breeding site surveillance system which consist of reporting, resolving and rewarding system to encourage public involvement in search and destroy breeding sites.

Outline of the plan

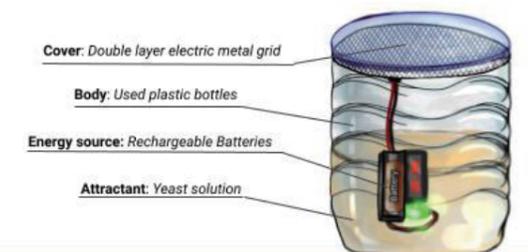


● 準優勝チーム『Denggu Slayers』

Plan name	Recycled Bottle Mosquito Trap
Team name	Denggu Slayers
School name	University of Malaya + Kanazawa University
member name	Jeffrey Tee Wei Yang, Takuma Kobori, Teng Zhi Sean, Abdullah bin Shukor
Survey we did	<ul style="list-style-type: none"> • Gauging the opinion of our potential consumers on whether they will buy our product if proven effective • Whether environmental friendliness plays a role in increasing our potential consumers interest in our products • What price range do they prefer so that we can use it as a guide on how to design and market our product to fit that price range • Whether our potential consumers prefer to buy cheap products despite it being moderately effective
Problem	Mosquitoes in our surrounding will always carry a risk of transmitting mosquito borne diseases such as dengue.
Solution	Our group believes that coming up with a solution that can effectively kill mosquitoes can decrease the chances of a person from getting infected with diseases such as dengue. We aim to make our solution cheap so that it is widely accessible, and we aim to make it environmentally friendly by using environmental friendly products.

Outline of the plan

1. Collect the recyclable items such as bottles
2. Cut open horizontally
3. Install a electric metal grid on the opening, connected to a rechargeable battery.
4. Send out this product alongside a capsulated yeast appropriate to the size of the bottle
5. Placing it in a mosquito hotspot **anywhere** under the roof
6. Check the trap, clean the cover, refill the bottle with the yeast solution and replacing the battery periodically.



WAKAZOについて

WAKAZOとは

医療系学生を中心とした150名以上からなる次世代イノベーター集団「inochi WAKAZO Project」が行っているプロジェクトの一つです。(inochi WAKAZO Project は、中高生課題解決プログラム「inochi Gakusei Innovator's Program (i-GIP)」と「WAKAZO」の、2つのプロジェクトに分かれています。)

大阪万博を起爆剤にして社会に大きな変革を起こすため、今年度は18名で活動しています。

2021年11月より、ロゴを新調しました /



WAKAZOのミッション

『誰もがいのちを守り合う、新たな未来を創造する。』

inochiのペイフワードプロジェクト

WAKAZOが構想する「いのちを守り合う社会」を、2025年の大阪・関西万博を通して提案します。その第一歩として、2021年12月に第一回となる実証実験を行う予定です。

inochi未来・WAKAZO適塾

誰もがいのちを守る未来社会を作り上げることを目標とした産官学民若で共創するオンラインゼミです。弊団体が昨年8月より主催しており、2021年8月に最終回を迎えることができました。

海外共創

若者ならではのネットワークの軽さを生かし、世界中の情熱ある若者と直接関わりながら、より良い未来を作りたいと考えています。

代表挨拶



「若造」である私たちには、未熟なところもあるかもしれない。でも、私たちがこれから過ごす未来だからこそ、私たちの手で未来を創っていきたい。そんな思いを持って、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の1つとして、誰もがいのちを守ることに貢献できる「inochiのペイフワード」を考案し、現在実装に向けて実証実験を進めています。世界中の若者と共に未来を作る場を目指して、万博にて、サミットの開催も構想しています。2025年に次世代のリーダーが集い、次の未来を創る始点となる万博、そしてその先のいのち輝く未来の実現に向けて、もう WAKAZO は動き出しています。

WAKAZO代表 東京医科歯科大学 医学部医学科 3年 木島 優美

WAKAZOの歴史

- 2016 「2025大阪万博誘致若者100の提言書」を元松井大阪府知事に提出
- 2017 若者の力で大阪万博誘致の実現を目指す団体として、「WAKAZO」が本格始動。
- 2018 ・BIE総会で日本代表団の一員として、WAKAZOメンバーが万博招致プレゼン
・大阪 関西への万博誘致が決定
- 2019 「万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けたビジョン有識者ワーキンググループ」有識者委員として、「ウェルビーイング中心社会/万博」を提言
- 2020 inochi未来フォーラムにて、宮田裕章先生、石黒浩先生、博覧会協会副事務総長の森清様などをお招きし、「inochiのペイフワード」の構想を発表
- 2021 ・「inochi未来・WAKAZO適塾」全8回が終了
・「inochiのペイフワードプロジェクト」第一回実証実験(2021年12月)
・海外の若者との共創を開始「WAKAZO Global Discussion Event」(2021年11月)



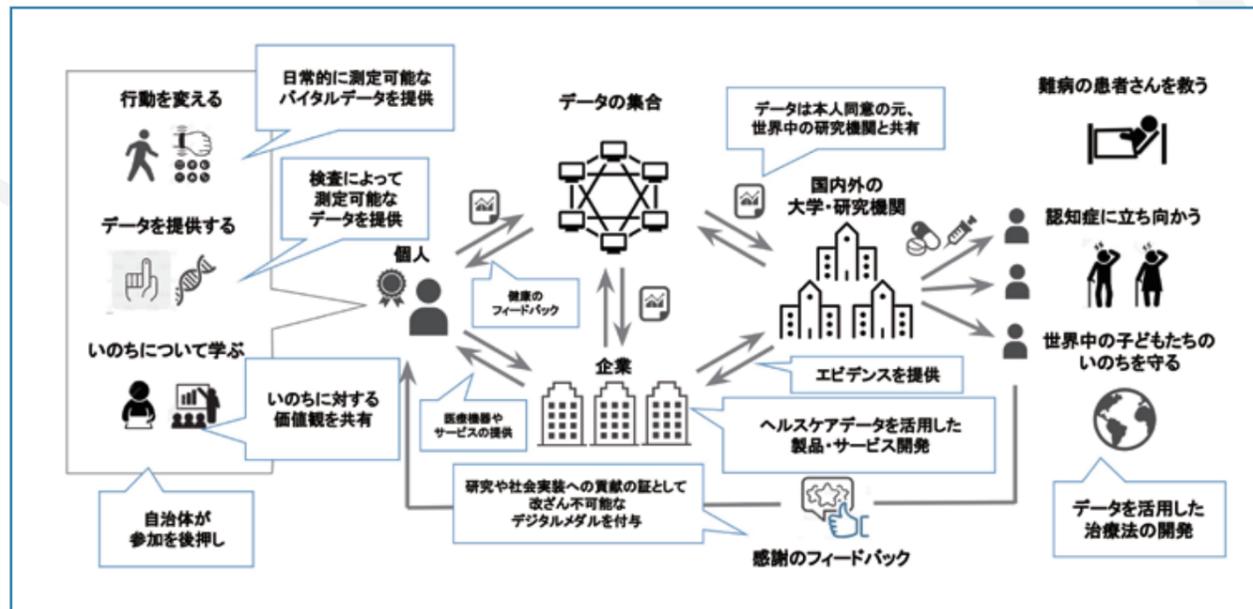
- 2025 大阪・関西万博
「inochiのペイフワード」によっていのちを守り合う未来を、WAKAZO は実現します。

「inochiのペイフワード」プロジェクト

inochiのペイフワードとは

ペイフワードとは誰かを大切にしたいという循環という意味です。WAKAZO が構想する「inochiのペイフワード」は、「誰かのいのちを守りたい」という思いから、自分のヘルスケアデータを提供するシステムです。これにより研究や開発が進むことで、今守ることができていない「いのち」を市民で守り合うことを目指します。

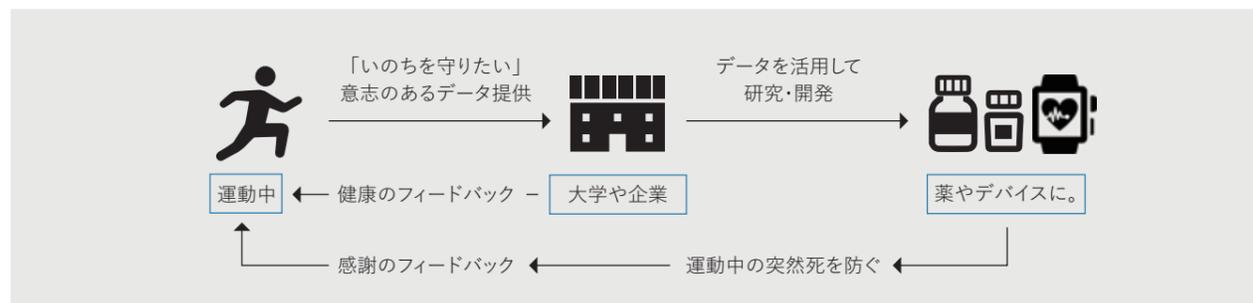
日常のヘルスケアデータの提供が進むことは、誰かのいのちを守ることができると同時に、データの解析により提供者もさらに健康になることが期待されます。私たちはこのシステムによって、誰かのいのちを守ることにより自分のいのちも守る「市民でいのちを守り合う」社会を実現したいと考えております。



inochiのペイフワード 未来図

inochiのペイフワードの例

「運動中に突然亡くなってしまう人を救いたい」



WAKAZO 初の実証実験

「誰もがいのちを守り合う」未来を創りたい。

今年度WAKAZOは、「Great Santa Run 2021:Virtual」を最初の舞台として、新たな未来社会を実現させるための実証実験「inochiのペイフワードプロジェクト」を行います。

参加者がサンタランの中でデータを提供することで、いのちを守ることへと繋がる。

そんな新たなチャリティーの形を私たちは提案します。

今年度は「サンタラン参加者のランニングと身体活動量の定量的評価探索的研究」をテーマに、参加者に対する短期的なフィードバックと、ヘルスケアデータについて考えるきっかけ作りを行い、来る2025年の大阪・関西万博に向けて「inochiのペイフワード」を実現するための第一歩とします。

※テーマは変更となる場合がございます。

Great Santa Run2021:Virtual における inochi のペイフワード 実証実験

実施概要

日時：2021年12月4日（土）～5日（日）/両日も雨天の場合12月18日（土）に延期いたします。

場所：花園中央公園芝生広場（東大阪市鷹殿町、松原南1・2丁目、吉田6・7・8丁目）

対象：「Great Santa Run2021:Virtual（<https://www.santa-run.com/>）」に参加された方々の一部希望者

実施方法

- ① 参加者へのアンケート形式でデータを収集
- ② 実際のランニングデータを計測
- ③ サンタラン実施後、アンケートやウェアラブルデバイスのデータを解析し、結果をフィードバック



△ Osaka Great Santa Run 2020の様子



△ 実証実験のポスター
(募集は終了しました)

【実証実験後の構想】NFT を用いたアートの制作

- ・実証実験に参加する想いをテーマにしたデジタルアートを制作をする予定です。
- ・新たなフィードバックの形として、NFT を用いて協力してくださった方々に価値を分配することができます。
- ・アート作品を通して「いのちを守り合う」という価値観を広められることが期待されます。

inochi 未来・WAKAZO 適塾

inochi未来・WAKAZO適塾について

「inochi未来・WAKAZO適塾」とは、誰もがいのちを守れる未来社会を産官学民若で作り上げることを目標としたオンラインゼミです。各回にはテーマを設けられており、その分野の最先端でご活躍されている講師によるご講演と、WAKAZOメンバーが掲げるkey questionに沿った、講師の先生方とWAKAZOメンバーによるパネルディスカッションで構成されています。弊団体が2020年8月より開催し、8月17日の第8回で最終回を迎えました。

第1～4回

2020年8月に開催された第1回適塾のテーマは「データ駆動型社会と若者」でした。いのちを守り合う社会のため、若者だからこそ出来ることは何か、WAKAZOは考え続けています。第2～4回では、「データに溢れる社会の中で、価値や幸せはどう生まれるのか」を大きなテーマとし、豊かでありながら幸福を感じにくいとされる日本で、若者はどう未来を捉え、価値観を変容させるべきなのかを考えてきました。

- 第1回 総論：最先端医療×データサイエンスとinochi CSVについて
- 第2回 データ駆動型社会から共感価値型社会へ
- 第3回 データ駆動型社会の中で求められる生きる幸せとは
- 第4回 ヘルスケアデータインフラが引き起こす社会の変化とは

▽ グラフィックレコード作家あるがゆうさんによる

第一回のグラフィックレコード



▽ 第1～4回のダイジェスト動画 (Youtube)



第1回 第2回 第3回 第4回

第五回

データを用いた新しい『いのちを守り合う社会』の実現に向けて

2月12日(金)18:00～20:30

堂目 卓生 先生(大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)長・大学院経済学研究科教授)
岸本 充生 先生(大阪大学社会技術共創研究センター長)

第六回

新規システムの普及を促す『仕掛け』とは？

4月8日(木)18:00～20:00

松村 真宏先生(大阪大学教授)

第七回

市民参加型のヘルスケアの実現に向けたソーシャルデザイン

7月8日(木)18:20-20:00

上田玄 様(大阪府健康医療部健康推進室国民健康保健課括主査)
土岐 博 先生(大阪大学特任教授)

第八回

万博×データヘルス×若者=？

8月17日(火)18:00-20:00

宮田 裕章 先生(慶應義塾大学医学部教授)
澤 芳樹 先生(一般社団法人inochi未来プロジェクト理事長・
大阪大学大学院医学系研究科保健学科未来医療学寄付講座教授)



第5～8回では、WAKAZOがこれから2025年の大阪・関西万博を見据えて取り組んでいく「inochiのペイフォワード」の実証実験に関して、また、これからの社会におけるデータヘルスに関して、データヘルス分野において第一線でご活躍されている先生方をお招きし、パネルディスカッションを行いました。

WAKAZOが取り組む海外共創・今年度の記録

海外共創の目指すところ

大阪・関西万博を見据えて、日本のみならず世界中の若者と未来を共創することです。若者ならではのフットワークの軽さを生かし、世界中の情熱ある若者と直接関わり、意見を出し合うことで、より良い未来を作りたいと考えております。



WAKAZO Global Discussion Event 2021

11月5日にWAKAZO Global Discussion Event 2021を開催いたしました。バングラデシュ、ナイジェリア、イギリス、アメリカなど、世界各国から総勢20名の若者がオンラインで集まり、小児のデータ提供に関する親の決定をテーマに話し合いました。それぞれの国の文化や個人の価値観を反映した意見を聞くことができ、とても有意義なイベントにすることができました。

2021年12月には、世界各国から若者を集め、デジタルヘルスに関するグローバルアイデアソンを行う予定です。

Global Discussion Event on Data Health
Hosted by WAKAZO (in inochi WAKAZO Project)

Date & Time (Online via Zoom) : November 5th
22:00-23:00 (in Japan, Korea), 21:00-22:00 (in Singapore, Hong Kong, China, Taiwan),
17:00-18:00 (in UAE), 16:00-17:00 EAT, 15:00-16:00 CAT, 14:00-15:00 WAT, 13:00-14:00 WET

Time Flow : 10 minutes Icebreaking
20 minutes Discussion on an assigned case (*)
10 minutes Sharing time
15 minutes Role play related to the case
5 minutes Wrap up

Main Theme : Differences and similarities in values and cultures on data sharing

Criteria: Anyone who have interest (if slight) in data health, cultural difference in healthcare, global discussion etc. You DO NOT need any preparation or knowledge on data health!!

(*) In this event, we select one case around data-sharing. You DO NOT have to read any material beforehand!

Key Word --- 熟議

海外共創で大事にしていることは、「熟議」です。お互いに異なる文化や価値観、環境、境遇を認め合い、1つのことについて深く議論することで、素晴らしい未来を作ることができると思っています。

TEAM EXPO

WAKAZOのメインプロジェクトである「inochiのペイフォワード」は、TEAM EXPO2025の共創チャレンジに登録されています。

TEAM EXPO2025とは多様な人たちがチームを組み、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型プログラムのことです。また、共創チャレンジは自分たちが描くワクワクする未来社会の実現に向けての活動のことを指します。



2021年度 登壇などの記録

- 01/18(月) 『いのちを広げ、いのちを響き合わせる未来共創フォーラム～2025大阪・関西万博に向けて』
川竹絢子、木島優美、増田奈保子
- 05/26(水) 第1回万博サクヤヒメ会議
川竹絢子
- 05/29(土) 第18回「関西から観光立国・立圏を考える」意見交換会「大阪・関西万博と観光PARTII～万博と観光復興のデザイン」
木島優美
- 06/16(水) 第8回夢洲新産業・都市創造セミナー
『いのちを高める未来社会の共創～2025大阪・関西万博に向けて』
木島優美、小島祐依
- 08/05(木) 第二回学生万博会議
木島優美
- 08/27(金) 大阪・関西万博 EXPO PLL Talks「いのちを高める」シリーズKickoff!
—未来の地球学校:あなたと共に創る協奏社会!—
小島祐依
- 10/21(木) 朝日地球会議2021 —大阪・関西万博 未来社会どう描く—
木島優美
- 11/15(月) 第11回夢洲新産業・都市創造セミナー
『万博プロデューサーとの共創～未来を共に創るBeyond SDGs万博に向けて』
川竹絢子

個人のお客さま限定

りそなグループアプリ

いつでもどこでも
スマホがあなたの銀行に

口座残高や入出金の確認はもちろん
振込をはじめとする様々なお取引きがスマホで完結

安心安全セキュリティ



パスコードロック
生体認証



セキュリティ
パスワード



カードロック

400万
突破!
ダウンロード数
2021年7月現在



りそなグループアプリ
ダウンロードはこちらから



GOOD DESIGN

Team Lab アプリ開発:チームラボ

キャンペーンやアップデート情報など配信中!

りそなグループアプリ【公式】 検索



「残高どうなってる？」
そんな時はその場ですぐチェック!

残高確認



「あっ!明日は引き落としの日だ」
出金予定を事前にお知らせ

引落予定通知・実績通知



「振込しなきゃ…」
移動中でも即完了

振込

【りそなグループアプリに関するご注意事項】●りそな銀行、埼玉りそな銀行、関西みらい銀行のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまがご利用いただけます。事業用口座にはご利用いただけません。●マイゲート(インターネットバンキング)のメイン口座にてご利用いただけます。またスマートフォン端末につきりそな銀行、埼玉りそな銀行、関西みらい銀行の普通預金1口座のみご利用いただけます。●詳しくは各社ホームページ等をご確認ください。

現金レス



クラブ
ポイントが
たまる

JALの
マイルが
たまる

りそなデビットカード

りそなデビットカード(JMB)

口座から即時引落とし。
Visa 加盟店で使える
キャッシュカードです。

ご利用限度額や一時利用停止も
簡単に設定できて安心。
お申込後、すぐにカードをお受取り、
今日から国内でも海外でも、ご利用いただけます。

即時発行

りそなデビットカード

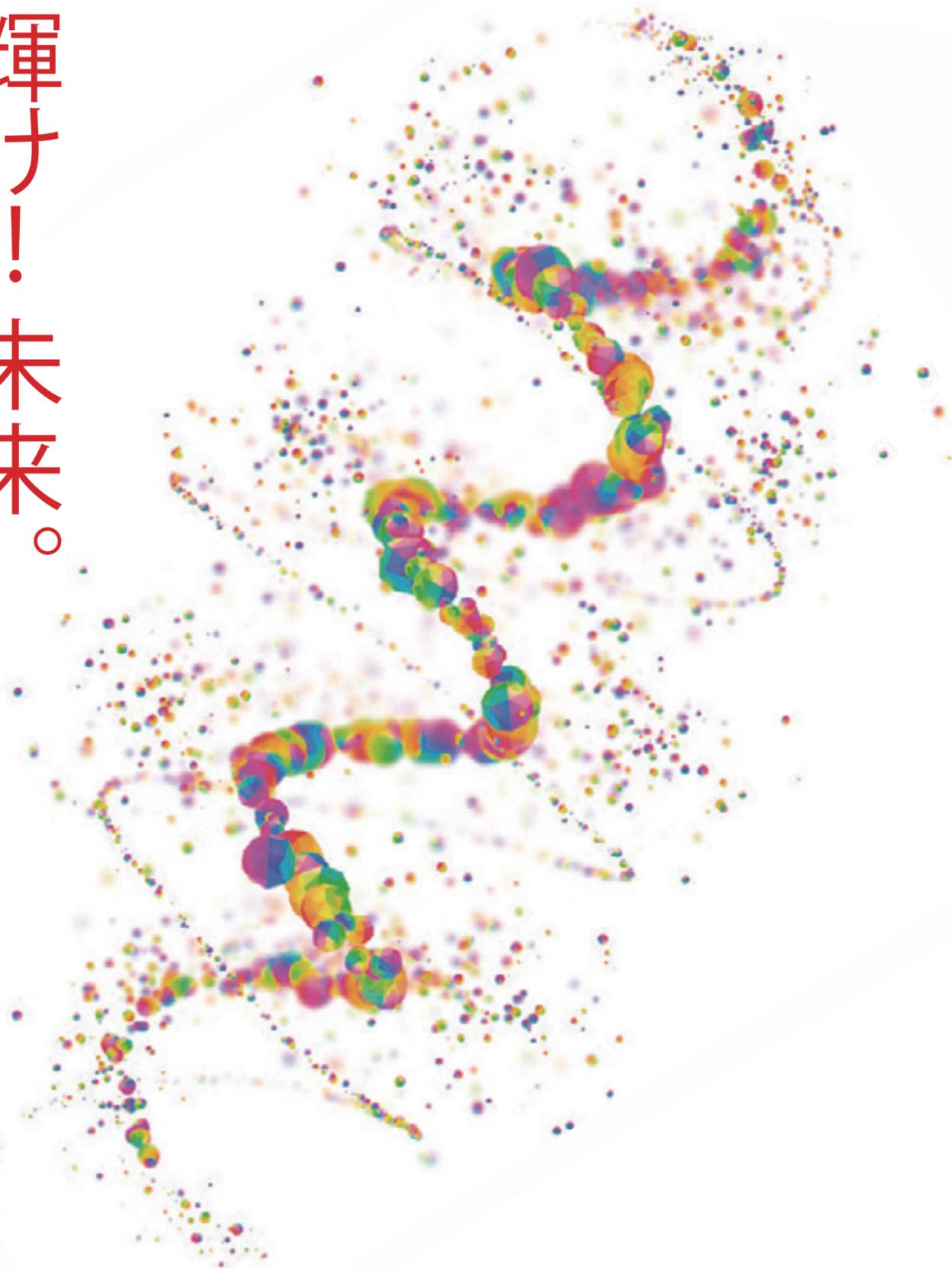
Visa デビット機能付ICキャッシュカード

りそなデビットカードに関するご注意事項
●15歳以上の個人のお客さまがお申込みいただけます。●海外でのご利用には別途事務手数料がかかります。●海外ATMのご利用にはりそなウォレットアプリまたはマイゲートでの利用停止解除が必要となります。●一部即時引落としとしない場合やご利用いただけない加盟店があります。●詳しくは、各社店頭もしくはホームページにてご確認ください。

りそなウォレットアプリ
アプリを使えば、かんたん家計簿管理も



輝け！未来。



一般財団法人
三菱みらい育成財団

www.mmfe.or.jp



＼ 20秒でできる /
歯ブラシいらずの
簡単デンタルケア

か
「**噛みがき**」
ドクターワンデル
Dr.WANDEL
キャンデル +
KANDELセット

獣医師共同開発 PCT国際特許出願中 デンタルケアランキング7大連続動物病院取り扱い TV番組で紹介された話題



ドクターワンデル 🔍

医学部受験を考えるなら

経験豊富な
教育アドバイザー × **医学部専門のプロ講師**
現役の医学部生講師 が
オンラインのマンツーマン指導で
あなたの**合格**をサポートします。

プロ講師や現役医学科生など、全国から最適な講師を選び、
自宅で受講できるオンラインのマンツーマン指導。
一人ひとりにぴったりの受講スタイルで合格力を高めます。

<p>〈医学部専門〉プロ講師</p>  <p>吉田 正和</p>  <p>宗野 静恵</p>	<p>〈医学部生〉講師</p>  <p>北海道大学 池田 壮雄</p>  <p>札幌医科大学 鈴木 多聞</p>  <p>滋賀医科大学 澤井 千優</p>	<p>〈講師は一部抜粋〉</p>
--	--	------------------

2021年度合格実績
〈医学部・医学科〉

108名

国立
北海道大学(医)・東北大学(医)・秋田大学(医)・
新潟大学(医)・滋賀医科大学(医)・京都大学
(医)・神戸大学(医)・岡山大学(医)・徳島大学
(医)・香川大学(医)・九州大学(医)・大分大学(医)

私立
自治医科大学(医)・慶應
義塾大学(医)・関西医科大学
大学(医)・兵庫医科大学
(医)・近畿大学(医)

他多数

自宅でハイレベルなオンラインのマンツーマン指導

アクセス
Axis オンライン

大学受験
高校受験
中学受験
学校準備

詳しく知りたい方はコチラ
インター
ネット
アクセスオンライン 検索
https://axis.onl



無料体験授業
受付中! **40分/1コマ**
無料体験授業の
お申込みは →

https://axis.onl/member/class/free/



WAO! Education & Entertainment
ワオ・コーポレーション

全国47都道府県で能開センター、個別指導Axis、
Axisオンラインなどを展開する教育企業です。

【大阪本社】〒530-0015 大阪市北区中崎西1-5-14 WAOビル TEL:06-6377-7971
【東京本社】〒102-0083 東京都千代田区麹町4-4-7 アトム麹町タワー7F TEL:03-5215-2141

シオノギには SONGがあります。

歌には、人を癒すチカラがあります。
くすりも歌のように、人を励まし、勇気づけ、
笑顔にするチカラがあります。

私たちは、くすりを通して
世界中の人々の健康に奉仕できるよう、
代謝性疾患・感染症・疼痛などの疾患領域を中心に、
研究開発から製品情報の提供まで、
日々努力を続けています。

すべての人々の
クオリティ・オブ・ライフの向上をめざして。
SONG for you! シオノギです。



LINK-Jはライフサイエンス分野に従事する方のための 人と情報の交流プラットフォーム



LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン）は、再生医療・個別化医療・創薬・医療機器・ヘルスケアITをはじめ、予防・未病・健康長寿など広義のライフサイエンス研究・産業に関わる世界の人々の交流の場を創造し、人々の健康に貢献する製品やサービスを創出し続けるプラットフォームの構築を目的としています。

交流・連携



ネットワーキングによる交流



大規模シンポジウムの開催

育成・支援



事業化支援プログラム



ベンチャー企業支援

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番9号日本橋アイティビル2階
TEL 03-3241-4911 FAX 03-3241-3757（月～金 9:00-17:00） www.link-j.org



小児病棟

マタニティセンターでの手洗い教育

東アフリカ感染症会議

3 すべての人に健康と福祉を
6 安全な水とトイレを世界中に
8 働きがいも経済成長も

手の消毒100% 検索
tearai.jp/hospital



病院で手の消毒100%プロジェクト

東アフリカでの院内感染をなくすために。
SARAYAは、アルコール手指消毒剤の普及を進めています。
まず、ウガンダから。

エボラ出血熱・
新型コロナウイルス感染症
などの対策を要する現場でも
現地生産のアルコール
手指消毒剤「AisoftV」は
活用されています。



出産時、
産後の手指消毒の徹底
開発途上国では十分な設備
がないまま出産するケースが
未だ多くみられ、新生児死亡率
や乳児死亡率が高い国が
たくさんあります。そのため
SARAYAでは出産時、産後
の手指消毒の徹底を推進して
います。



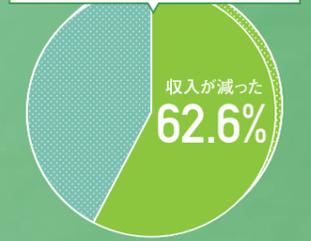
SARAYA サラヤ株式会社
大阪市東住吉区湯里 2-2-8 ☎0120-40-3636 https://www.saraya.com/

ふところが、寒いんです。



退院しても、
ピンチはつづく？

入院前後での収入の変化



14日以上20日未満の入院を
された方にお伺いしたところ・・・
約6割の方が入院前
よりも収入が減少

※傷病手当金等の公的保障については、考慮しておりません。出典：ニッセイ基礎研究所「2020年度長期入院経験者に関する調査」より計算

2週間以上入院が
続いた場合の収入
減少に備える保険。



SDGsで、未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます



SDGsとは
2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳の参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。SDGsはすべての国の社会課題を対象とした17のゴールと、その課題ごとに設定された達成基準である169のターゲットから構成されます。このゴールとターゲットによって、包括的で持続可能な社会の構築を目指すものです。

持続可能な地球環境	安心して暮らせる社会	活力のある経済活動
<p>事業活動における環境負荷低減への取組を進めるとともに、気象災害による被害や損失を軽減するためのサービスの提供を通じて、気候変動の緩和と適応に貢献します。</p> <p>関連する主なSDGs: 13, 14, 15</p> <p>主な取組: 再生可能エネルギーの普及支援、自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング</p>	<p>SDGsの理念である「誰一人取り残さない」を実現するべく、年齢や性別等に関わらず、高品質なサービスを、より多くのお客さまに提供します。</p> <p>関連する主なSDGs: 1, 2, 3, 4, 5, 8, 10</p> <p>主な取組: 健康づくりの支援、先端技術を活用した利便性の高いお客さま対応</p>	<p>多様な環境変化にともない発現する新たなリスクへの対応策を提案し、サステナブルな経済活動を支えます。</p> <p>関連する主なSDGs: 7, 8, 9, 11</p> <p>主な取組: 次世代モビリティ社会への対応(自動運転車等)、災害に強いまちづくりの支援</p>

立ちどまらない保険。MS&AD 三井住友海上 | 三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会をめざします。 ※外部環境にシなやかに対応する、持続可能な社会

“健康寿命の延びる沿線”の実現に向けて

阪急阪神ホールディングスは健康や介護に関するサービス提供や情報発信を通じて沿線にお住まいの皆様の健康ライフをサポートします。

Wellness PLUS+
健康づくり応援サイト

生き活きと輝く自分と家族のために手軽でWellnessな情報を

【阪急阪神Wellness PLUS】
healthcare.hankyu-hanshin.co.jp/

みなとわ
健康福祉サービス

在宅ケアの現場をつなぐ地域包括ケア支援サービス

【阪急阪神みなとわ】
minatowa.hankyu-hanshin.co.jp/

阪急阪神ホールディングス株式会社



Stride Ahead
100th

力強く、前へ

その一歩が、より良い未来の医療へ繋がると信じて。この先の100年も、熱い想いで明日の医療を変えていく。私たちはテルモです。

2021年、テルモは創立100周年。

テルモ株式会社 | 100周年記念サイト
www.terumo.co.jp/100th/



すぐにBSL2の実験ができる
レンタルラボが来年春大阪でオープン!

機器付きレンタルラボ「ターンキーラボ健都」とは基本的な設備や実験機器が整えられており、ラボマネージャーが常駐するBSL2対応のレンタルラボを来春、大阪の健都にオープンします。

研究者・起業家のラボに関するこんなお悩み解決!
「研究環境を整えるには高額となる為、初期投資を抑えて実験したい」
「事業の方向性が定まるまでは身軽でいたい」
「研究者の人材確保に苦戦中」

ターンキーラボのメリット

- 初期投資も安く、すぐに研究を始められる
- 施設管理不要で研究に専念できる
- 駅近で通勤に便利

ご利用者さまの声を掲載!

Webサイトはこちら ⇒ <https://www.krp.co.jp/turnkeylab/lp/>
ターンキーラボご利用者さまの声や設置機器についてご覧いただけます
お問合せ先: 京都リサーチパーク株式会社 新事業開発部 tk1@ml.krp.co.jp



HVC KYOTO

The Largest Healthcare English Pitch & Partnering Event in Japan!

23 Innovative English Pitch & Mentoring!
3 Cutting Edge Lectures
78 Individual Business Meetings



HVC KYOTOは、日本最大級のヘルスケア分野特化型の英語ピッチイベントを中心としたエコシステム形成の取組です。国際経験豊かなプロフェッショナル達の助言を得て、京都から世界に羽ばたいて頂くこと、JETRO・京都府・京都市・京都大学などと共に2016年から実施している、登壇者の累積調達額は130億円超(国内・公開情報限り)となっています。今年は7ヶ国23社が登壇しました。(<https://www.krp.co.jp/hvckyoto/detail/2204.html>)
次回要項は来年2月頃公開します。ご応募、ご支援お待ちしております。
↓ポストイベントのお知らせです。ぜひご参加ください。↓

- 12月14日 ポストイベント1
「ウェルネスシンポジウム ~再生医療を細胞/バイオテクノロジー+DXという観点で見ると～」
- 12月15日 ポストイベント2
「イノベーションエコシステム形成に向けて～関西に何が足りないのか?～」

↓資料請求・お問合せは、HVC KYOTO 事務局まで↓
京都リサーチパーク株式会社イノベーションデザイン部 hvckyoto@krp.co.jp



Nhes.
naturen hittar ett sätt

端材活用と副産物活用
eco 歯ブラシ【日本製】
天然毛と天然木を採用
「自然に還る」天然素材の歯ブラシ
mail: plus@nhes.jp



自然に還る歯ブラシ

naturalist
for naturalist

2022/01 ~
BASE shop
coming soon

100% natural
made in Japan



2019年8月、京都リサーチパーク株式会社(略称:KRP)は「本気で起業をしたい」人のために「miyako起業部@KRP」を設立しました。miyako起業部@KRPはその名の通り、「起業」をするための部活動です。

部員は、互いにチームビルディング、ビジネスプラン作成をし、国内外のコンテストに応募をしながら、ビジネスプランをブラッシュアップし、起業に向けて実践的な活動を行います。

顧問には「起業」をするための部活動の生みの親、熊野正樹教授(神戸大学)を迎え、当部活動の指導にあたっていただくほか、国内外の起業家や大学機関等、KRPのネットワークを活用して、部活動を実施します。

「千年の都」ここ京都で、ともに新たな価値を創造していきたい意欲と行動力に富む部員を募集しています。

お申込み・詳細情報は、こちらから⇒



人とエネルギーの 未来に貢献します

キュービクル配電盤
スマートメーター
HEMS
配電自動化機器
エコQ電
EV充電器用認証・課金システム
盗難抑止カメラシステム SyRe スマレ
変圧変流器
えねぼう

私たちエネゲートは、100年以上の長きにわたり培った技術力と信頼で電気のある暮らしを支えてきました。これまでも、これからも——新しい分野へのチャレンジで時代とともに変化し続ける企業をめざします。

株式会社 エネゲート 大阪市北区大淀北1-6-110 TEL:06-6458-7301(代)

World Without Waste

すべての容器で廃棄物ゼロをめざす取り組みです。お客様のニーズにあわせた容器をお選びいただけます。



PETボトルからPETボトルをつくる。
コカ・コーラシステムは、缶やびんが再利用されているように、使用済みPETボトルから新しいPETボトルを生み出す「ボトルtoボトル」に取り組みんでいます。2030年にはリサイクルPETボトルの割合を90%まで高めるとともに、缶を含むすべての容器をサステイナブル素材100%に。心身ともに人々をうるおし、さわやかさを提供するとともに、あらゆる人々の生活、地域社会、そして地球にとって前向きな変化をもたらすことを目指します。



Yes!リサイクル No!ポイ捨て ビン、缶、PETボトルは資源です。

LIFE CUSTOM

人も、車も、変えられる。



はがきに、人生を想う。

安全性・耐久性・走行性・・・あらゆる性能を左右するタイヤ。
タイヤ1本が地面に接する面積は、はがき一枚分。そのわずかな接地面に乗せるのは、尊い命です。我々の仕事は、タイヤとホイールを売る事ではありません。
人の安全を守り抜き、生き方をデザインする事です。
タイヤとホイールの先には、クルマに乗る人や家族がいます。
その人生に繋がる仕事を手がけています。

タイヤ1本からでも、承ります。お気軽にお問合せ下さい。

大阪本店	〒590-0003	大阪府堺市堺区高須町2丁2-10	☎ 0120-252-353	西宮店	〒663-8017	兵庫県西宮市大島町5-6	☎ 0120-925-717
埼玉本店	〒362-0032	埼玉県上尾市日の出1-13-11	☎ 0120-921-525	枚方店	〒573-0005	大阪府枚方市池之宮1-24-40	☎ 0120-994-373
				東大阪店	〒578-0966	大阪府東大阪市三島3-1-5	☎ 0120-911-787

お得な情報が
いっぱい!

公式ホームページ

大林組

プロポーシヨンのダイアナ
Diana
Solution for Life

プロポーシヨンをつくるのは、
女の知性である。



▼詳しくはこちらから
—— 薬師薫の ——
Body Concierge

つくるを拓く
MAKE BEYOND

肌ラボ
発酵ヒアルロン酸
(3重おい成分)
採用

14年連続
肌支持率 No.1*

【肌ラボ®化粧水シリーズ販売個数】
うるおってもっともちもち肌

肌ラボ 極潤
GOKU JYUN
ヒアルロン液
ローション

*化粧水の合計販売個数に対する、肌ラボシリーズの割合。インテージSRI化粧水カテゴリー（主要シリーズ別）2007年4月～2021年3月 販売個数

いつもの一日が幸せだと思えるのは、
大切な人たちが笑顔でいられるから。
一人ひとりに寄り添ってこよう。
わたしの仕事は、この街の健康につながっているから。

薬局の未来をはじめよう。

あなたの街でいちばん身近に 業界のリーディングカンパニーへ
調剤薬局 1,065店舗 調剤薬局売上全国 No.1*
(2021年4月現在)

アイングループ

※店舗数・売上高 業界ナンバーワン、「医薬品高層ランキング2021」(株式会社フラッグシップ)



歴史的資源を活用した観光まちづくり
持続可能なまちづくり

バリューマネジメント株式会社
GOOD DESIGN AWARD
2021年度受賞

愛媛県大洲市城下町の歴史的資源を活用したまちづくりにおいて、2021年度グッドデザイン賞受賞。
その他、持続可能な観光ガイドライン「JSTS-D」モデル地区に選定。経産省地域未来投資促進法モデル事業に選定。

「日本の文化を紡ぐ」を理念に、人口減少による空き家空きビル問題や、都市一極集中による地方都市の過疎化が原因で、放っておくといつかは無くなってしまいうであろう歴史的・文化的価値の高い建物を改修・利活用し、人々があつまる場所にすることで、まちに賑わいを取り戻す、持続可能なまちづくり事業を展開するバリューマネジメント。

これまで観る対象だった文化財や城、名勝などを「利用する文化財」として、ホテルやレストラン、パーティ会場にすることで、他では体験できない非日常な時間を提供。利用者にとって記憶に残る場所となることで、必要性を生み出しています。社会課題に直接向き合い、必要とされる会社を目指し、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

バリューマネジメント
公式ホームページ
<https://vmc.co.jp/>



株式会社ビジョンは、グローバルWiFi、各種情報通信サービスを提供しています。

VISION
More vision, More success.

創業1995年以來 累計40万社^(※1)、1,500万人^(※2)
これまでのお客様、そしてこれからのお客様へ
More vision, More success.

Web会議の場所・少人数の会議室
不足していませんか？

防音・個室ブース"テレキューブ"という解決策

テレキューブが選ばれる理由

- 優れた防音性
Web会議や少人数会議を快適に利用できる防音性。消防法対応の特許も取得済み。
- 良質な個室空間
オフィス家具メーカーと共同開発した、長時間の利用でも負担のない高品質設計。
- 導入しやすいサブスク
買い切りだけでなく、月々のサービス利用料のみで手軽なサブスク対応も。

TELECUBE
Web会議・面談に最適な1人用、1on1や少人数会議にぴったりの2~4人用をラインアップ。
TELECUBE (テレキューブ) は、株式会社ブイキューブの登録商標です。

Beyond テレワーク V-CUBE
お問い合わせ、資料請求はこちらから

TELECUBE (テレキューブ) は、株式会社ブイキューブの登録商標です。

あなたのご支援で inochi 輝く未来社会の 実現へ

一般社団法人 inochi 未来プロジェクトは、「みんなで inochi の大切さと未来について考え、行動するプロジェクト」。「inochi のひとつづくり・ものづくり・まちづくり」の3つを提唱し、2025年大阪関西万博を通して世界へと発信することで、50年、100年後の未来社会がより良いものとなるよう活動しています。

私達の活動は、皆様からの暖かいご支援により支えられ、ここまで大きく成長して参りました。

inochi WAKAZO 会員になる

私達の活動を継続的に支援して下さる方への会員制度です。

※お支払いは各種クレジットカード対応。一年ごとの自動更新となります

学生 ￥3,000 /年

社会人 ￥10,000 /年

RETURN ささやかな御礼の表明

- プロジェクト優先観覧権利・限定イベントの案内などを毎年お送りいたします
- 私達の活動・取り組みについてのメールでお知らせいたします
- アニュアルレポートにお名前を記載いたします
- アニュアルレポート・御礼のお手紙を毎年送付いたします

単発サポーターになる

単発のご支援制度です。金額はご自由に選択頂けます。
各種クレジットカード・銀行振り込みに対応しています。

RETURN ささやかな御礼の表明

- 私達の活動・取り組みについてのメールでお知らせいたします
- アニュアルレポートにお名前を記載いたします
- アニュアルレポート・御礼のお手紙を送付いたします

inochi Gakusei Innovators' Program (i-GIP) 特別サポーターになる

毎年開催の i-GIP 参加者の関係者様限定の単発支援制度です。
支援額 ¥15,000 でのご用意です。

RETURN ささやかな御礼の表明

- i-GIP 特製のアルバムを送付いたします
- 私達の活動・取り組みをメールでお知らせいたします
- アニュアルレポートにお名前を記載いたします
- アニュアルレポート・御礼のお手紙を送付いたします



支援をお考えくださる方へ

左の QR コードより、「inochi WAKAZO 基金」ページにアクセスしてください。
ご希望の支援制度を選択し、決済に進んでください。記入情報が不足がある場合適切な御礼がお送りできない場合がございますので、注意事項をよく読んでご支援いただくよう、よろしく願い致します。
個人情報は当団体プライバシーポリシーに則り適切に管理します。

お問い合わせ先

一般社団法人 inochi 未来プロジェクト



✉ info@inochi-wakazo.org

🌐 https://inochi-wakazo.org



澤 芳樹

大阪大学大学院医学系研究科 特任教授
大阪警察病院 院長

医療者・企業・行政そして市民と患者も。関西・日本が、みんなできさえあいなから、健康で長生きできる街・国になることをめざす一般社団法人です。
理事長の澤 芳樹をはじめとする9人の理事で構成されています。また、医大生を中心とする「inochi WAKAZO Project」とも連携し、多くの世代を巻き込んだ活動を行っています。

DESIGN

Riho Kutsumizu
Aru Takaoka
Yu Takehara
Akane Takemoto
Atsushi Hiramoto